

様式第4号（第5条関係）

令和8年3月31日

古賀市議会議長 渡 孝二 様

議員名 奴間 健司

令和7年度 政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 令和7年度 政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
  - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
  - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
  - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙 1

令和7年度 政務活動費収支報告書

議員名 奴間 健司

1 収入  
政務活動費 120,000 円

2 支出

項目	金額 (円)	支出内訳書の番号
調査研究費	48,820	3
研修費	4,000	4
広報費	119,812	1, 2, 5, 7, 8
広聴費	1,500	6
資料作成費		
資料購入費		
事務費	9,130	9, 10
支出合計		183,262 円

3 残額 0 円

## 別紙 2

## 令和7年度 政務活動費支出内訳書

番号	期間	内容	経費 (円)	備考
1	令和7年5月18日	ぬま健司の提言詳報 (第31号)	22,088	領収書添付① 冊子添付
2	令和7年8月20日	ぬま健司の提言詳報 (第32号)	16,616	領収書添付② 冊子添付
3	令和7年11月12日	愛知県新城市視察	48,820	領収書添付 ③④⑤ 報告書添付
4	令和7年11月22日	輝け！議会 対話による 地方議会活性化勉強会 in 大野城	4,000	領収書添付 ⑥ 報告書添付
5	令和7年12月1日	ぬま健司の提言詳報 (第33号)	18,297	領収書添付⑦ 冊子添付
6	令和7年12月20日	報告と対話のつどい 会場費	1,500	領収書添付⑧
7	令和8年1月17日	ニュースレター発行	41,863	領収書添付⑨ ニュース添付
8	令和8年2月4日	ニュースレター発行	20,948	領収書添付⑩ ニュース添付

※研修及び視察には報告書を添付のこと

## 別紙2

## 令和7年度 政務活動費支出内訳書

番号	期間	内容	経費 (円)	備考
9	令和7年6月2日	コピー用紙	2,340	領収書添付⑪
10	令和7年11月30日	印刷機インク	6,790	領収書添付⑫
11				
12				
13				
14				
15				
16				

※研修及び視察には報告書を添付のこと

## 領収書



奴間 健司様

取引年月日：2025年05月18日(日)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-250514596837

**合計金額** (税込) **22,088円**

ラクスル株式会社

10%対象 22,088円 (内消費税: 2,008円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
250514596837-01	冊子・カタログ / 中綴じ冊子 / 左綴じ / 20ページ / A4 / オンデマンド印刷 / 表紙(両面カラー 光沢紙(コート) 標準：90kg 表面加工なし) / 本文(両面カラー 光沢紙(コート) 標準：90kg)	200部	20,080円	出荷予定日: 2025年5月19日 250316一般質問一問一答パンフレット施政方針を再考確定版PDF

[\*]は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 20,080円
小計 (税抜)	20,080円
合計金額 (税込)	22,088円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

# ぬま健司の提言詳報（第31号）

## 目次

- 田辺市長との一般質問の全記録（3月13日）・・・p1～p12  
「市民の理解と共感を得られるか～施政方針の意義を再考する～」

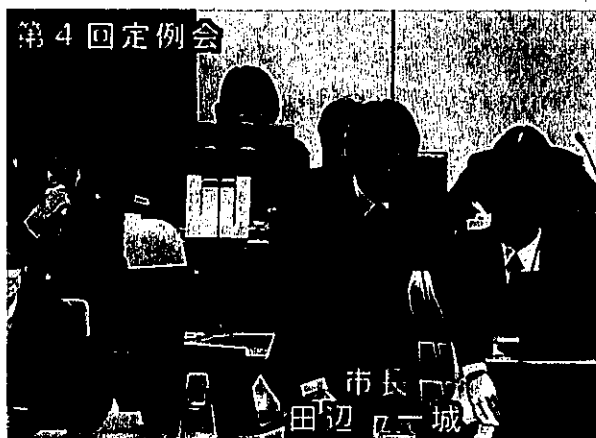
<要点>

※田辺市長の施政方針のスタイルだけではなく、全国の先進事例と比較検討することの必要性を投げかけた。

※「市民に届くメッセージになっているのか？」という視点から問題点を具体的に指摘。

※平和行政に関する条例の必要性を提言。その意義は共有できた。

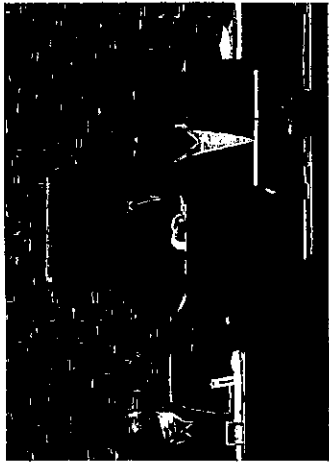
- 議会発議のオンライン対応条例改正案等を提出・・・p12
- 予算提案理由の方法を改善、一般会計補正予算の特徴・・・p13
- 一般会計、国保会計、水道会計予算に対する指摘事項・・・p14
- 薬王寺・快生館の収支について市長質疑・・・p15
- 子育て支援休暇に対する指摘事項、今在家など開発地区の概要・・・p16
- 千鳥が池公園に移転する市民体育館はどうなるか、まち・ひと・しごと創生総合戦略は本当に必要か？・・・p17
- 中学校部活地域移行、廃食油回収実績、学校体育館空調整備・・・p18
- 地域医療と市民を結ぶ会フォーラム案内その他・・・p19



写真は一般質問で答弁する田辺一城市長と質問する奴間健司（3月13日）

発行：2025年5月23日  
福岡県古賀市議会議員 奴間 健司





○奴間 健司 議場の皆さん、インターネット中継や公共施設のモニターを御覧の皆さん、おはようございます。会派・友和の奴間健司です。

3月定例会は、2月20日に開会し、これまで各会派代表等による施政方針質疑、各議案の大綱質疑、常任委員会での議案審査、4日間にわたる予算審査を精力的に行ってまいりました。この一般質問は、これまでの審査結果も踏まえ、市長の見解を求められるよい機会です。予算審査特別委員会の採決は18日、最終日本会議の採決は21日です。一般質問での市長答弁は、予算案に対する賛否の判断材料にもなり得ます。3月定例会の一般質問の趣旨はそこにあります。

さて、2月20日、市長は40分間にわたって施政方針演説を行いました。市長の活動量や執行力のアピールは十分果たしたと思います。一方で、新年度の市政運営の基本姿勢及び重点施策などについて、市長の考え方を述べるといふ施政方針の意図は果たしたのか。いま一度考え直す必要性も感じました。そこで、今回のテーマを「市民の理解と共感を得られるか〜施政方針の意義を再考する〜」としました。

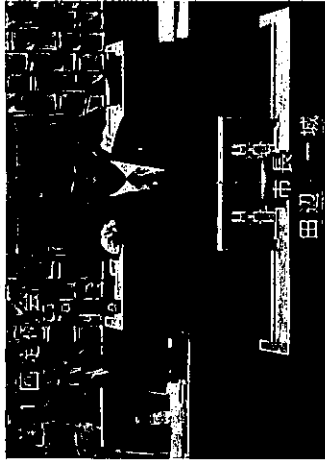
1、施政方針の意義をどう認識するか。書くことが目的化され、考察が後回しになっていないか。他市長の施政方針との比較検討は行ったか。

2、市民に読まれ、理解と共感を得られるか。文章は長いが施策が伴わない、結論はあるが説明が不足、大事なことが欠落、こうした傾向はないか。

3、第5次総合計画の言及がないのはなぜか。行財政運営の力点、来年度の重点課題は何か。

4、平和行政の強化は大賛成です。目標と具体策は何か。総合計画の改正、根拠条例の制定に着手してはどうか。

以上、市長の答弁を求めます。



田辺 一城 市長

○田辺 一城市長 奴間議員の御質問、「市民の理解と共感を得られるか〜施政方針の意義を再考する〜」についてお答えをいたします。

1点目についてお答えします。施政方針は、私のみならず、市民の理念や市政運営の基本的な考え方にまつて明らかにするものです。また、施政方針は内閣総理大臣や47の都道府県知事、そして全国に1,700以上ある市区町村長がその必要性を踏まえた上で執筆されているものと考えております。

2点目についてお答えします。議員の価値観は価値観として受け止めさせていただきます。その上で、約6万人の市民の皆様もそれぞれ知性や感性に基づく価値観をお持ちであり、それをベースにこの施政方針を受け止めていただけたらと考えております。

3点目についてお答えします。総合計画基本構想との整合性につきましては、昨年の10月に発出した令和7年度当初予算編成のスタートに当たっての市長メッセージの中で、市長公約と所信表明を念頭に置き、第5次総合計画の基本構想に掲げる4つの基本目標と基本構想の推進のための指針がめざすまちづくりを進めることを踏まえて令和7年度予算案を調整していることから、施政方針

との整合は取れられております。行財政運営の力点とし、DXを加速させ、行財政運営の効率化を図りながら市民サービスの向上に努めてまいります。また、重点課題につきましても、来年度だけにとどまらず、時代を捉え、まちの持続可能性を高めることにあると考えております。

4点目についてお答えをいたします。政治の究極目標は世界平和であると考えております。さきの大戦の記憶を風化させず、次の世代につなげるのが私たち世代の責務であります。戦後80年を迎える本年は、被爆80年の節目でもあります。非核久保平和都市を宣言している本市は、平和首長会議及び日本非核宣言自治体協議会に加盟する自治体として、8月を戦争と平和を考える月間とし、名譽市民である中村哲さんに関するイベントや歴史資料館での企画展、「戦争とくらし」などに取り組むこととしております。

あわせて、全ての小中学校への被爆クスの植樹、被爆地である長崎や広島への修学旅行、市独自の人権教育副読本『いのちのノート』を活用した平和学習、じんけん平和教室として長崎でのフィールドワークなどの平和行政や平和教育の取組について、積極的の推進を図ってまいります。また、8月に開催される平和首長会議の総会に私も自身も参加を検討しており、さらなる平和行政の強化に取り組んでまいります。そもそも恒久平和の追求は、世界人類にとつて普遍的なものであり、本市においても恒久平和の追求はめざまさきまきまづくりの基礎として、全ての行政運営を推進しております。なお、着手は考えておりません。

施政方針の特長は何か

○奴間 健司 今回の質問のキーワードは、施政方針の再考——改めて考えてみるということです。しかし、そもそも施政方針はどんな内容だったのか、演説を聞いてない方、また読んでいない方も多くかと思えます。そこでまず、田辺市長の施政方針の特長は何か、一言お願いしたいんですね。例えば石破首相の施政方針演説について、新聞各紙は「令和の日本列島改造」、「楽しい日本」というキーワードで特徴づけられていました。市長の施政方針

針はどんな見出しになりますか。記者出身の市長ですから、得意だと思いたいですので、まずお伺いしたいと思えます。

○田辺 一城市長 従前から申し上げておりますけれども、何事も一言で言うと、ワンフレーズの政治というのは私の趣味ではないということもありません。世の中は社会は複雑であるものからして、単純には申し上げられません。ただ、一つ私がまちづくりの理念として大事にしており、それが持続可能性を高めるといふこと、そして時代を捉えるということ、そしてその上でDX、シェアリングエコノミー、公民連携、多様な人材の経験や知見、感性の交差による共創で社会課題解決の可能性を高めていくということ、こうしたことを、理念を盛り込んだ施政方針となっております。

○奴間 健司 なかなか特徴づけ、見出しをつけるのが難しい、記者泣かせの施政方針なのかとも思えます。市長は自ら執筆されていると思うんですけども、今回はどうでしたでしょうか。大変多忙な中で、2月に入って執筆開始、完成したのは議案書を議員に事前配付する直前だったのではないかな、かなりハードだったのではないかなと心配してらるんですね。仕上がり具合はどう見えていますか。

○田辺 一城市長 いっ始めていつ終わったかはあまり覚えていないんですけども、おおむねですね、当初予算編成のですね、いわゆる市長査定の際の辺りから頭を巡らせ始めます。書き上げるときは一気にベースを書き上げますので、恐らく3時間ほどでベースを書いた記憶があります。そこから推敲等していきまますからですね、結果として最終的なものが出来上がったのが超直前だった記憶があります。

○奴間 健司 すごいですね、3時間というところで、大事な施政方針ですので、できることならば余裕を持って執筆してほしいなというところはお願いしたいと思えます。

施政方針の意義を再考

さて、施政方針の意義なんですか。先ほどの答弁

では、理念、それから市政の基本的考え方ということが強調されたと思います。言葉で共有していただきたいと思っています。

**施政方針 まちづくりの「道」を歩**

**市長が新年度の市政運営の基本姿勢および重点施策などについて、考え方を述べるもの**

選挙公約 所信表明 (4年間)

第5次総合計画 (10年間)

アクションプラン (4年間)

施政方針とは、まちづくりの道しるべ、新年度1年間の市政運営の基本姿勢及び重点施策などについて考え方を述べるもの。ベースには任期4年間の選挙公約と所信表明、10年間の総合計画、4年間のアクションプランがあります。これは1年前の一般質問でも見ていただいたものと同じ内容ですが、共有できると思います。いかがですか。

○田辺 一城市長 基本的には共有できます。ただ、事情の変更が起きるところで、当初予算の予算説明を兼ねるところが議会の皆様とのお話し合いの中で、今回は当初予算の提案理由説明を別にすることが事情の変更として起きてますので、おのずと施政方針の性質も若干変わっているとは思っています。

**他自治体首長の施政方針との比較**

○奴間 健司 基本的な共通認識は共有していただけかと思いますが、通告の中で、他自治体の首長の施政方針との比較検討をお尋ねしてたんですが言及がありませんでした。どうだったのですか。

○田辺 一城市長 他自治体の首長の施政方針と、個別の首長の施政方針と比べる意義というところが、すみませんが、まだこのやり取りが深まっていないので、なぜ議員がそれを必要としているかという、提起をされているか捉え難いというところがあります。客観的な状況として1,700を超える首長がこの国にはいる、必要と認める首長が施政方針を述べている。つまりそれだけの数の施政方針がこの世に存在するという答弁をまず前提として

させていただきました。

○奴間 健司 結果的には比較を行っていないというふうには理解しました。その意義はここで展開していきたいと思っています。

画面をお願いいたします。

**M市の施政方針**

1. 本市の目指す姿(基本姿勢)
  - 「市民の暮らしを大切にし、安全・安心・健康なまちづくりを進め、地域経済の活性化を図る。また、環境にやさしいまちづくりを進め、持続可能なまちづくりを進める。」
2. 基本姿勢
  - 「安全・安心・健康なまちづくりを進め、地域経済の活性化を図る。また、環境にやさしいまちづくりを進め、持続可能なまちづくりを進める。」
3. 重点施策
  - 「安全・安心・健康なまちづくりを進め、地域経済の活性化を図る。また、環境にやさしいまちづくりを進め、持続可能なまちづくりを進める。」
4. 中期目標
  - 「安全・安心・健康なまちづくりを進め、地域経済の活性化を図る。また、環境にやさしいまちづくりを進め、持続可能なまちづくりを進める。」

これはある自治体、M市としておきますが、市長の施政方針の構成です。4つの構成から成っています。第1には、はじめにということと、市を取り巻く情勢を述べた上で政策重点化と優先順位明確化、行革推進の必要性を述べています。第2に、基本計画に基づいた施策の推進ということで、そのM市ではコミュニティ創生と未来への投資を優先課題とします。これに基づいて、駅南口開発や防災、防犯、コミュニティ、第1子保育料無償化など重点施策を述べています。第3は、持続可能な自治体経営の推進ということで、財政運営、機構改革などを述べています。第4に、令和7年度予算の財政的特徴、細かな事業ではなくても軸的特徴を述べています。財源などについても触れています。参考に、文字数は約5,200字、田辺市長の大体半分ぐらいです。私はいろいろ比較してみたいんですが、これが施政方針の基本的スタイルだと評価してらるんですね。これは前回の、前年度の分を紹介しました。市長いかがでしょうか。

○田辺 一城市長 M市はM市で考えてこれをつくられてきたと思いますし、議員の価値観は価値観として受け止めさせていただきます。

○奴間 健司 去年もM市のような考え方もあるが、古賀市の施政方針もどこかで参考になる部分もあると答弁されました。今日は私の価値観ということでも言われております。

ただ、田辺スタイルもいいんですが、やっぱり

こういうスタイルもある、他市に学ぶという姿勢があれば、さらなる古賀市のバージョンアップにつながると思うんですね。学ぶところに発展があると思うところや紹介してらるんですが、いかがですか。

○田辺 一城市長 その意義は認めます。一方で、1,700首長がいて、様々なスタイルで施政方針を書かれてるものと認識をしています。

○奴間 健司 全部を比較せよとは考えてないんですが、代表例を紹介しています。画面をお願いします。

**古賀市長 2024年施政方針**

1. はじめに

2. 本市の目指す姿(基本姿勢)

3. 基本姿勢

4. 重点施策

5. 中期目標

6. 財政運営

7. 機構改革

8. 環境対策

9. 防災・防犯

10. コミュニティ

11. 子育て支援

12. 高齢者支援

13. 若年層支援

14. 地域経済活性化

15. 環境対策

16. 防災・防犯

17. コミュニティ

18. 子育て支援

19. 高齢者支援

20. 若年層支援

21. 地域経済活性化

22. 環境対策

23. 防災・防犯

24. コミュニティ

25. 子育て支援

26. 高齢者支援

27. 若年層支援

28. 地域経済活性化

29. 環境対策

30. 防災・防犯

31. コミュニティ

32. 子育て支援

33. 高齢者支援

34. 若年層支援

35. 地域経済活性化

36. 環境対策

37. 防災・防犯

38. コミュニティ

39. 子育て支援

40. 高齢者支援

41. 若年層支援

42. 地域経済活性化

43. 環境対策

44. 防災・防犯

45. コミュニティ

46. 子育て支援

47. 高齢者支援

48. 若年層支援

49. 地域経済活性化

50. 環境対策

51. 防災・防犯

52. コミュニティ

53. 子育て支援

54. 高齢者支援

55. 若年層支援

56. 地域経済活性化

57. 環境対策

58. 防災・防犯

59. コミュニティ

60. 子育て支援

61. 高齢者支援

62. 若年層支援

63. 地域経済活性化

64. 環境対策

65. 防災・防犯

66. コミュニティ

67. 子育て支援

68. 高齢者支援

69. 若年層支援

70. 地域経済活性化

71. 環境対策

72. 防災・防犯

73. コミュニティ

74. 子育て支援

75. 高齢者支援

76. 若年層支援

77. 地域経済活性化

78. 環境対策

79. 防災・防犯

80. コミュニティ

81. 子育て支援

82. 高齢者支援

83. 若年層支援

84. 地域経済活性化

85. 環境対策

86. 防災・防犯

87. コミュニティ

88. 子育て支援

89. 高齢者支援

90. 若年層支援

91. 地域経済活性化

92. 環境対策

93. 防災・防犯

94. コミュニティ

95. 子育て支援

96. 高齢者支援

97. 若年層支援

98. 地域経済活性化

99. 環境対策

100. 防災・防犯

101. コミュニティ

102. 子育て支援

103. 高齢者支援

104. 若年層支援

105. 地域経済活性化

106. 環境対策

107. 防災・防犯

108. コミュニティ

109. 子育て支援

110. 高齢者支援

111. 若年層支援

112. 地域経済活性化

113. 環境対策

114. 防災・防犯

115. コミュニティ

116. 子育て支援

117. 高齢者支援

118. 若年層支援

119. 地域経済活性化

120. 環境対策

121. 防災・防犯

122. コミュニティ

123. 子育て支援

124. 高齢者支援

125. 若年層支援

126. 地域経済活性化

127. 環境対策

128. 防災・防犯

129. コミュニティ

130. 子育て支援

131. 高齢者支援

132. 若年層支援

133. 地域経済活性化

134. 環境対策

135. 防災・防犯

136. コミュニティ

137. 子育て支援

138. 高齢者支援

139. 若年層支援

140. 地域経済活性化

141. 環境対策

142. 防災・防犯

143. コミュニティ

144. 子育て支援

145. 高齢者支援

146. 若年層支援

147. 地域経済活性化

148. 環境対策

149. 防災・防犯

150. コミュニティ

151. 子育て支援

152. 高齢者支援

153. 若年層支援

154. 地域経済活性化

155. 環境対策

156. 防災・防犯

157. コミュニティ

158. 子育て支援

159. 高齢者支援

160. 若年層支援

161. 地域経済活性化

162. 環境対策

163. 防災・防犯

164. コミュニティ

165. 子育て支援

166. 高齢者支援

167. 若年層支援

168. 地域経済活性化

169. 環境対策

170. 防災・防犯

171. コミュニティ

172. 子育て支援

173. 高齢者支援

174. 若年層支援

175. 地域経済活性化

176. 環境対策

177. 防災・防犯

178. コミュニティ

179. 子育て支援

180. 高齢者支援

181. 若年層支援

182. 地域経済活性化

183. 環境対策

184. 防災・防犯

185. コミュニティ

186. 子育て支援

187. 高齢者支援

188. 若年層支援

189. 地域経済活性化

190. 環境対策

191. 防災・防犯

192. コミュニティ

193. 子育て支援

194. 高齢者支援

195. 若年層支援

196. 地域経済活性化

197. 環境対策

198. 防災・防犯

199. コミュニティ

200. 子育て支援

201. 高齢者支援

202. 若年層支援

203. 地域経済活性化

204. 環境対策

205. 防災・防犯

206. コミュニティ

207. 子育て支援

208. 高齢者支援

209. 若年層支援

210. 地域経済活性化

211. 環境対策

212. 防災・防犯

213. コミュニティ

214. 子育て支援

215. 高齢者支援

216. 若年層支援

217. 地域経済活性化

218. 環境対策

219. 防災・防犯

220. コミュニティ

221. 子育て支援

222. 高齢者支援

223. 若年層支援

224. 地域経済活性化

225. 環境対策

226. 防災・防犯

227. コミュニティ

228. 子育て支援

229. 高齢者支援

230. 若年層支援

231. 地域経済活性化

232. 環境対策

233. 防災・防犯

234. コミュニティ

235. 子育て支援

236. 高齢者支援

237. 若年層支援

238. 地域経済活性化

239. 環境対策

240. 防災・防犯

241. コミュニティ

242. 子育て支援

243. 高齢者支援

244. 若年層支援

245. 地域経済活性化

246. 環境対策

247. 防災・防犯

248. コミュニティ

249. 子育て支援

250. 高齢者支援

251. 若年層支援

252. 地域経済活性化

253. 環境対策

254. 防災・防犯

255. コミュニティ

256. 子育て支援

257. 高齢者支援

258. 若年層支援

259. 地域経済活性化

260. 環境対策

261. 防災・防犯

262. コミュニティ

263. 子育て支援

264. 高齢者支援

265. 若年層支援

266. 地域経済活性化

267. 環境対策

268. 防災・防犯

269. コミュニティ

270. 子育て支援

271. 高齢者支援

272. 若年層支援

273. 地域経済活性化

274. 環境対策

275. 防災・防犯

276. コミュニティ

277. 子育て支援

278. 高齢者支援

279. 若年層支援

280. 地域経済活性化

281. 環境対策

282. 防災・防犯

283. コミュニティ

284. 子育て支援

285. 高齢者支援

286. 若年層支援

287. 地域経済活性化

288. 環境対策

289. 防災・防犯

290. コミュニティ

291. 子育て支援

292. 高齢者支援

293. 若年層支援

294. 地域経済活性化

295. 環境対策

296. 防災・防犯

297. コミュニティ

298. 子育て支援

299. 高齢者支援

300. 若年層支援

301. 地域経済活性化

302. 環境対策

303. 防災・防犯

304. コミュニティ

305. 子育て支援

306. 高齢者支援

307. 若年層支援

308. 地域経済活性化

309. 環境対策

310. 防災・防犯

311. コミュニティ

312. 子育て支援

313. 高齢者支援

314. 若年層支援

315. 地域経済活性化

316. 環境対策

317. 防災・防犯

318. コミュニティ

319. 子育て支援

320. 高齢者支援

321. 若年層支援

322. 地域経済活性化

323. 環境対策

324. 防災・防犯

325. コミュニティ

326. 子育て支援

327. 高齢者支援

328. 若年層支援

329. 地域経済活性化

330. 環境対策

331. 防災・防犯

332. コミュニティ

333. 子育て支援

334. 高齢者支援

335. 若年層支援

336. 地域経済活性化

337. 環境対策

338. 防災・防犯

339. コミュニティ

340. 子育て支援

341. 高齢者支援

342. 若年層支援

343. 地域経済活性化

344. 環境対策

345. 防災・防犯

346. コミュニティ

347. 子育て支援

348. 高齢者支援

349. 若年層支援

350. 地域経済活性化

351. 環境対策

352. 防災・防犯

353. コミュニティ

354. 子育て支援

355. 高齢者支援

356. 若年層支援

357. 地域経済活性化

358. 環境対策

359. 防災・防犯

360. コミュニティ

361. 子育て支援

362. 高齢者支援

363. 若年層支援

364. 地域経済活性化

365. 環境対策

366. 防災・防犯

367. コミュニティ

368. 子育て支援

369. 高齢者支援

370. 若年層支援

371. 地域経済活性化

372. 環境対策

373. 防災・防犯

374. コミュニティ

375. 子育て支援

376. 高齢者支援

377. 若年層支援

378. 地域経済活性化

379. 環境対策

380. 防災・防犯

381. コミュニティ

382. 子育て支援

383. 高齢者支援

384. 若年層支援

385. 地域経済活性化

386. 環境対策

387. 防災・防犯

388. コミュニティ

389. 子育て支援

390. 高齢者支援

391. 若年層支援

392. 地域経済活性化

393. 環境対策

394. 防災・防犯

395. コミュニティ

396. 子育て支援

397. 高齢者支援

398. 若年層支援

399. 地域経済活性化

400. 環境対策

401. 防災・防犯

402. コミュニティ

403. 子育て支援

404. 高齢者支援

405. 若年層支援

406. 地域経済活性化

407. 環境対策

408. 防災・防犯

409. コミュニティ

410. 子育て支援

411. 高齢者支援

412. 若年層支援

413. 地域経済活性化

414. 環境対策

415. 防災・防犯

416. コミュニティ

417. 子育て支援

418. 高齢者支援

419. 若年層支援

420. 地域経済活性化

421. 環境対策

422. 防災・防犯

423. コミュニティ

424. 子育て支援

425. 高齢者支援

426. 若年層支援

427. 地域経済活性化

428. 環境対策

429. 防災・防犯

430. コミュニティ

431. 子育て支援

432. 高齢者支援

433. 若年層支援

434. 地域経済活性化

435. 環境対策

436. 防災・防犯

437. コミュニティ

438. 子育て支援

439. 高齢者支援

440. 若年層支援

441. 地域経済活性化

442. 環境対策

443. 防災・防犯

444. コミュニティ

445. 子育て支援

446. 高齢者支援

447. 若年層支援

448. 地域経済活性化

449. 環境対策

450. 防災・防犯

451. コミュニティ

452. 子育て支援

453. 高齢者支援

454. 若年層支援

455. 地域経済活性化

456. 環境対策

457. 防災・防犯

458. コミュニティ

459. 子育て支援

460. 高齢者支援

461. 若年層支援

462. 地域経済活性化

463. 環境対策

464. 防災・防犯

465. コミュニティ

466. 子育て支援

467. 高齢者支援

468. 若年層支援

469. 地域経済活性化

470. 環境対策

471. 防災・防犯

472. コミュニティ

473. 子育て支援

474. 高齢者支援

475. 若年層支援

476. 地域経済活性化

477. 環境対策

478. 防災・防犯

479. コミュニティ

480. 子育て支援

481. 高齢者支援

482. 若年層支援

483. 地域経済活性化

484. 環境対策

485. 防災・防犯

486. コミュニティ

487. 子育て支援

488. 高齢者支援

489. 若年層支援

490. 地域経済活性化

491. 環境対策

492. 防災・防犯

493. コミュニティ

494. 子育て支援

495. 高齢者支援

496. 若年層支援

497. 地域経済活性化

498. 環境対策

499. 防災・防犯

500. コミュニティ

501. 子育て支援

502. 高齢者支援

503. 若年層支援

504. 地域経済活性化

505. 環境対策

506. 防災・防犯

507. コミュニティ

508. 子育て支援

509. 高齢者支援

510. 若年層支援

511. 地域経済活性化

512. 環境対策

513. 防災・防犯

514. コミュニティ

515. 子育て支援

516. 高齢者支援

517. 若年層支援

518. 地域経済活性化

519. 環境対策

520. 防災・防犯

521. コミュニティ

522. 子育て支援

523. 高齢者支援

524. 若年層支援

525. 地域経済活性化

526. 環境対策

527. 防災・防犯

528. コミュニティ

529. 子育て支援

530. 高齢者支援

531. 若年層支援

532. 地域経済活性化

533. 環境対策

534. 防災・防犯

535. コミュニティ

536. 子育て支援

537. 高齢者支援

538. 若年層支援

539. 地域経済活性化

540. 環境対策

541. 防災・防犯

542. コミュニティ

543. 子育て支援

544. 高齢者支援

545. 若年層支援

546. 地域経済活性化

547. 環境対策

548. 防災・防犯

549. コミュニティ

550. 子育て支援

551. 高齢者支援

552. 若年層支援

553. 地域経済活性化

554. 環境対策

555. 防災・防犯

556. コミュニティ

557. 子育て支援

558. 高齢者支援

559. 若年層支援

560. 地域経済活性化

561. 環境対策

562. 防災・防犯

563. コミュニティ

564. 子育て支援

565. 高齢者支援

566. 若年層支援

567. 地域経済活性化

568. 環境対策

569. 防災・防犯

570. コミュニティ

571. 子育て支援

572. 高齢者支援

573. 若年層支援

574. 地域経済活性化

575. 環境対策

576. 防災・防犯

577. コミュニティ

578. 子育て支援

579. 高齢者支援

580. 若年層支援

581. 地域経済活性化

582. 環境対策

583. 防災・防犯

584. コミュニティ

585. 子育て支援

586. 高齢者支援

587. 若年層支援

588. 地域経済活性化

589. 環境対策

590. 防災・防犯

591. コミュニティ

592. 子育て支援

593. 高齢者支援

594. 若年層支援

595. 地域経済活性化

596. 環境対策

597. 防災・防犯

598. コミュニティ

599. 子育て支援

600. 高齢者支援

601. 若年層支援

602. 地域経済活性化

603. 環境対策

604. 防災・防犯

605. コミュニティ

606. 子育て支援

607. 高齢者支援

608. 若年層支援

609. 地域経済活性化

610. 環境対策

611. 防災・防犯

612. コミュニティ

613. 子育て支援

614. 高齢者支援

615. 若年層支援

616. 地域経済活性化

617. 環境対策

618. 防災・防犯

619. コミュニティ

620. 子育て支援

621. 高齢者支援

622. 若年層支援

623. 地域経済活性化

624. 環境対策

625. 防災・防犯

626. コミュニティ

627. 子育て支援

628. 高齢者支援

629. 若年層支援

630. 地域経済活性化

631. 環境対策

632. 防災・防犯

633. コミュニティ

634. 子育て支援

635. 高齢者支援

636. 若年層支援

637. 地域経済活性化

638. 環境対策

639. 防災・防犯

640. コミュニティ

641. 子育て支援

642. 高齢者支援

643. 若年層支援

644. 地域経済活性化

645. 環境対策

646. 防災・防犯

647. コミュニティ

648. 子育て支援

649. 高齢者支援

650. 若年層支援

651. 地域経済活性化

652. 環境対策

653. 防災・防犯

654. コミュニティ

655. 子育て支援

656. 高齢者支援

657. 若年層支援

658. 地域経済活性化

659. 環境対策

660. 防災・防犯

661. コミュニティ

662. 子育て支援

663. 高齢者支援

664. 若年層支援

665. 地域経済活性化

666. 環境対策

667. 防災・防犯

668. コミュニティ

669. 子育て支援

670. 高齢者支援

671. 若年層支援

672. 地域経済活性化

673. 環境対策

674. 防災・防犯

675. コミュニティ

676. 子育て支援

677. 高齢者支援

678. 若年層支援

679. 地域経済活性化

680. 環境対策

681. 防災・防犯

682. コミュニティ

683. 子育て支援

684. 高齢者支援

685. 若年層支援

686. 地域経済活性化

687. 環境対策

688. 防災・防犯

689. コミュニティ

690. 子育て支援

691. 高齢者支援

692. 若年層支援

693. 地域経済活性化

694. 環境対策

695. 防災・防犯

696. コミュニティ

697. 子育て支援

698. 高齢者支援

699. 若年層支援

700. 地域経済活性化

701. 環境対策

702. 防災・防犯

703. コミュニティ

704. 子育て支援

705. 高齢者支援

706. 若年層支援

707. 地域経済活性化

708. 環境対策

709. 防災・防犯

710. コミュニティ

711. 子育て支援

712. 高齢者支援

713. 若年層支援

714. 地域経済活性化

715. 環境対策

716. 防災・防犯

717. コミュニティ

718. 子育て支援

719. 高齢者支援

720. 若年層支援

721. 地域経済活性化

722. 環境対策

723. 防災・防犯

724. コミュニティ

725. 子育て支援

726. 高齢者支援

727. 若年層支援

728. 地域経済活性化

729. 環境対策

730. 防災・防犯

731. コミュニティ

732. 子育て支援

733. 高齢者支援

734. 若年層支援

735. 地域経済活性化

736. 環境対策

737. 防災・防犯

738. コミュニティ

739. 子育て支援

740. 高齢者支援

741. 若年層支援

742. 地域経済活性化

743. 環境対策

744. 防災・防犯

745. コミュニティ

746. 子育て支援

747. 高齢者支援

748. 若年層支援

749. 地域経済活性化

750. 環境対策

751. 防災・防犯

752. コミュニティ

753. 子育て支援

754. 高齢者支援

755. 若年層支援

756. 地域経済活性化

757. 環境対策

758. 防災・防犯

759. コミュニティ

760. 子育て支援

761. 高齢者支援

762. 若年層支援

7







は行政執行者を縛るという考え方が、いかかですか。

○田辺 一城市長 憲法と法律が異なるようにですね、憲法と条例もその性質は異なります。憲法、議員おっしゃっていただいたように、権力者等縛っておきますけれども、何と申しますか、申し上げたように法律や条例等というのは憲法とは根本的に性質が異なっていると思います。

○奴間 健司 平和条例を制定しているのは、九州沖縄では沖縄県の読谷村、西原町、糸満市と長崎県の時津町ぐらいです。こうした先事例を調査研究し、福岡県で第1号の平和条例制定をめざしませんか。戦後80年の今年中にいかがですか。平和行政に係る条例の意義は共有させていただいております。そうした私共も踏まえて今後様々考えていきたいと思っております。

○奴間 健司 読谷村の総合計画、「ゆたさむらびジョン」というそうですが、そこのあるべき姿、基本理念の第一に平和、環境が明記されています。また、行政組織規則の中で、企画政策課の職務の中に平和行政の基本方針に関することが明記されています。条例、総合計画、行政組織規則という体系が整っています。この状態を古賀市でもめざしませんかという呼びかけですが、応えていただ

けませんか。

○田辺 一城市長 参考させていただきありがとうございます。

○奴間 健司 予算審査の中で、この点意識的に審査しました。総務課も福祉課も図書館も隣保館も、本間に平和に関する取組はよく頑張っていたと思います。2025年度もさらに拡充されることを確認できました。

一方で、総合計画基本構想に平和の2文字がないんですね。何とかしようと呼びかけています。総合計画アクションプランの中にやつと恒久平和希求事業という文言が出てくるんですが、地域福祉政策の下に位置づけられています。平和行政を独立した政策施策として整理しましょうと呼びかけています。

また、行政組織規則の中の事務分掌を見ると、

総務課にも福祉課にも平和行政に関することが記載されています。こういう現状を何とかしよう。そうすれば市長が掲げた平和行政の強化が確固としたものになるという提案なんですね。いかがですか。

○田辺 一城市長 議員がおっしゃっていただいているように、本市は平和行政、本各セクションで頑張ってくれていると思います。それは当然私ももうです。平和行政全体の我々としてもですね、平和行政全体を把握しながらそれぞれが進められています。議員がおっしゃっている仕組み等については、もちろん参考させていただきま

す。逆に、それがなくとも今すぐいい平和行政ができていくという現実もありません。だから要らないという意味ではなくてですね。だからなくてもしっかりとマネジメントをしていけば、今の状況が生み出せるんだということ、結果として議員もお褒めいただいた状況にはなっているし、この体制でもさらに私は強化できるといふふうに思っています。そういうことも踏まえて引き続き考えていきたいと思っております。

○奴間 健司 今、質疑の中で、平和は全ての行政の基礎なので、どの課を取り組んでもおかない、いいんだという答弁がありました。これは大変人間的に柔軟な考え方だと思います。ただ、行政組織の運営に関わることで、憲法が権力者を縛るように、条例があることでどなたが市長になっても、どなたが部長、課長であっても、きちんと確固としたものにしていく。そのためには条例の整備、あるいは事務分掌明記が必要ではないかという投げかけなんです。この趣旨は理解していただけたらと思います。いかがですか。

○田辺 一城市長 日本国憲法の下で生まれる首長ですから、平和を基底とする者になっているはずだということですがまず前提としてありますけれども、おっしゃっていることは理解できます。

○奴間 健司 平和行政の強化、古賀市にはよく見ると平和行政という言葉が総合計画や条例や事務分掌の中にちよつとまだないので、きちんと盛り込みましょうよという建設的な提案を今日日させ

ていただいています。この3点がそろうのが理想なんです。段取りとしては平和行政に関する条例制定が第1弾ではないかなと私は判断しています。かつて、深夜花火禁止条例を議員提案で制定した経験があります。準備過程では、これは罰則規定がないということもありましたけど、担当課と協議しながら条列をつくったことを思い出します。非常によかったなと思っています。今回もそんなパターンで行ければなと夢を描いているんですけど、どうでしょうか。

○田辺 一城市長 それは議会の皆様の中でお考えいただくことだと思います。私が言及するのは適切ではないと思います。

○奴間 健司 ぜひそういう動きを、私も汗流してみたいとは思っています。かつての深夜花火禁止条例のようにタイアップして取り組めれば、いいものになるんじゃないかなというふうには期待しております。

今回、施政方針を改めて考えるというテーマにしたわけですが、さつき紹介したある有識者の御意見、市民に届けるメッセージになっているかという観点で読めば疑問符がつきますね。この意見が私今回非常に起点になっています。こういったやり取りをする中で、もし疑問符がついているのであれば、1つでも疑問符を取り除いていければいいということ、質疑をしたつもりです。様々な角度

から予算審査の例も取り上げて、結果も取り上げて、公開の場で議論してみたいです。施政方針を改めて考え直す時間になつたでしょうか。ちよつと駆け足で来たので、ゆつくりではできないと思うので、いつもの市長の多忙さに比べればこの時間はゆつたりと流れていると思いますので、そうでもないですか。こんな時間持たてたでしょうか。

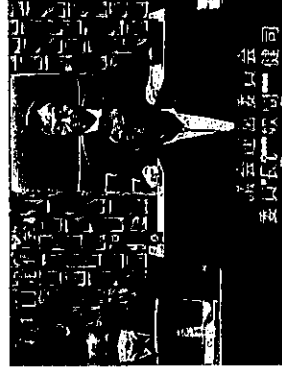
○田辺 一城市長 常に学びの時間だと思っております。今日のやり取りも、今後の施政方針も含めてですね、私の活動、または市行政運営において参考させていただくべきこと、あつたと考えています。

○奴間 健司 施政方針を執筆できる権利を持っているのは、当然ですが市長だけなんです。その施政方針が市民に届けるメッセージとしてパフォーマンスアップすることができれば、結果としてよ

いまちづくりが進むことにつながると思います。ぜひ今回の問題提起を受け止めていただきたいと思います。最後に、市長の感想をお聞きして締めくくりたいと思います。

○田辺 一城市長 就任7年目に入りました。議員が御指摘いただいたところですね、市民の呼声、様々な声がある、それを受け止めて謙虚にやるべきだということだと思いますので、今日のやり取り踏まえて、しっかりとやっていきたいと思

## オンライン対応の委員会条例改正案等を可決 議運委員長として趣旨説明を行いました

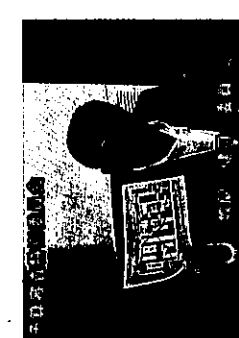


2月20日の本会議で、私は議運運営委員会の委員長としてオンライン対応の委員会条例改正案等3議案（議会発議）の趣旨説明を行いました。（写真左）  
手続きのオンライン化を可能とするともに、オンラインによる委員会開催要件を「大規模な災害等の発生等又は重大な感染症のまん延」としました。オンライン委員会の表決も可能となります。  
この3議案は3月21日の本会議で賛成全員で可決されました。



葉王寺・快生館 4億2千万円の投資効果はあるのか  
 予算審査の中で市長質疑

葉王寺・快生館委託費2552万円、税金投入累計4億2千万円 予算委員会でも市長質疑しました(2025年3月11日)	田辺一城市長の答弁
ぬま健司の質疑	コロナ禍で危機的状況となった地域資源の損失を打開するため必要だった。快生館だけではなく葉王寺地域全体の活性化、観光振興、シニアプロモーションにも寄与した。
葉王寺・快生館インキュベーションに投入した税金累計が4億2千万円(うち市費1億6400万円)になるがどう評価するか。	4億円を超す投資効果を数字で示すことは市長の政治的責任だ。来年度末までは市長の政治的責任だ。来年度末までは市長の政治的責任だ。来年度末までは市長の政治的責任だ。
収支見込では市負担は軽くなり来年度はゼロのはずだがそうならない。この乖離をどう説明するか。	快生館への企業進出、視察や利用が増え、館内配置人員を1名増員したことが一つの大きな原因だった。
運営会社の取り分が多くなり市の負担が増えるような覚書をなぜ交わしたか。来年度も交わすのか。	経費増を反映させ、委託費から差し引く施設使用料とサービス利用料の割合を令和5年度は2対8、令和6年度は3対7とした。令和7年度は企業努力を求めるよう運営会社と協議する。



総務委員会傍聴報告  
 2025年4月11日  
 葉王寺・快生館 売上目標と実績

売上目標	2024年度	実績	達成率
	2040万円	1400万円	68.6%

① 0.6%増の目標と実績の差を分析し、原因を特定し、改善策を講ずる。② 0.6%増の目標と実績の差を分析し、原因を特定し、改善策を講ずる。③ 0.6%増の目標と実績の差を分析し、原因を特定し、改善策を講ずる。

2024年度・令和6年度(2月まで) 快生館売上(約)	売上	利用
コワーキング(月単位)	131	243万3947円
スモールオフィス(月単位)	61	563万3935円
コワーキングドローン	175	14万3550円
貸切利用	600	151万2500円
宿泊	262	285万7540円
運集	176	6万4570円
その他(イベント等)	-	50万6690円
合計	1,406	1315万2672円

これらは  
 全額SALT  
 が収受

「集蓄」による試算  
 (作成:提出委員)

利用料収入  
 計972万3932円

施設使用料  
 3割  
 292万円

サービス料  
 7割  
 681万円

SALTが収受

委託料から控除  
 2552万円-292万円  
 =2260万円①

SALTの当初の算定分では  
 115万円であった。

快生館の前期運営委託費であるSALTは、3284万円を収受したことになる。

今在家など6カ所の開発地区の概要  
 予算審査の中で明らかにしました

2025年度予算審査報告(2025年3月6日)  
 6カ所の開発地区の進み具合を調査  
 調査でわかったこと

開発地区など	2024年度に造成着手、2026年度から2027年度に完了予定
今在家地区	工業団地を拡充させる土地利用
青柳大内田地区	2024年6月に造成完了。工業系土地利用
新原高木地区	2024年度に造成着手、2026年度から2027年度に完了予定
青柳森田地区	工業系、商業系用途の土地利用
青柳田地区	2025年春から建設工事開始、2028年秋稼働予定
古賀中野辺	工業系土地利用(ビエトロド)、併設店舗やリジャー施設等誘致
新久保南地区	工業団地造成させる土地利用に向けた準備
子業配置	2025年度に福岡県等と協議継続
秋取増見込	市借化をめぐり土地利用に向けた準備
企業立地可能性	2025年度は市の支出はなし
	2030年代前半に税収増を見込む。税収増推計は未定。
	福岡都市圏としての優位性があり企業立地は進むと認識

※適切な都市計画等による土地活用コントロール

子育て支援休暇に対する賛成討論  
 代替職員配置等を指摘

「子育て支援休暇」創設・第7号議案に対する指摘事項  
 (2025年3月21日)

賛成討論の中で、以下の2点について共に執行部に働きかけ実現することを同僚議員に呼びかけました

古賀市独自の改正として、小学校就学後から中学校就学前までの子を養育する職員を対象として「子育て支援休暇」を新たに設けようというもの。一日につき2時間ですが障害のある子どもの場合は4時間まで可能。「子育て支援休暇」の創設で、重い障がいを持つ子どもとさん、不登校や発達障害の子ともさんを育てる職員が離職せずに養育も可能な。障がいのある子を養育しながら、仕事を続けたいと悩んでいた当事者の願いに応えることを認識とする本議案に賛成する。

① この休暇を取得した職員の職場に代替職員を配置すること、カバーする職員の人事評価を考慮すること、手当等の支給の可能性を検討すること。

② 中学校就学後の対応も追加できるような検討すること。

文教厚生委員会・所管事務調査報告 (2023年5月1日)

市民体育館の施設・修繕はどうか  
5月21日までパブリックコメント 市民の声を聞きましょう

民生学習推進課の審判(審判)

公共施設等総合管理計画で2030年までに建設計画  
を2割追加となっていることからそのように考え  
た。

2階に新設席をというアイデアもいただいている  
が、建築費などの関係で同規模となることも考え  
られる。追加できると理想的ではない。

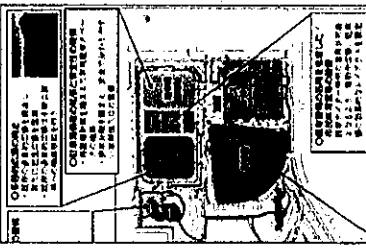
市民体育館とクロスパルコを併設分けて使っ  
ていきたいと考えている。

スポーツ推進課に分科会を設けて職員などを  
検討する。スポーツ協会からも参加してもらって  
いるので意見を聴いてほしい。新しい体育館な  
ども規模の違いはあるが参考にしたい。

古賀市公園再整備基本計画(案)に市民体育館を千  
鳥が池公園に移設する場合はレイアウトなどが記載  
されています。

5月21日までパブリックコメントを行ったうえで、6  
月に決定しようとしています。皆さんの声を古賀市  
に届けましょう！

上の各中女「ヒアリング結果」とは古賀市公園再整  
備基本計画(案)に記載されているものです。

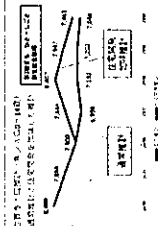


市民体育館の千鳥が池公園への移転・新築はどうか  
文教厚生委員会で質疑しました。(5月1日)  
利用団体の意見を聴取することを求めました。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と子ども計画」指標の設置や方向性が不統一ではないか  
文教厚生委員会でも確認しました(2023年4月24日)

計画名	計画期間	数値	現状・基準値	目指す方向性・目標値
子ども計画	令和7年度~11年度 2025年度~2029年度	18歳未満の子どもの数 (常住人口)	9,988人 (2022年実績)	0増減、上昇、減少の いずれでもよい
まち・ひと・しごと 創生総合戦略	2025年度~2028年度	年少人口(15歳未満)	9,118人 (2023年)	急減を維持
第5次総合計画	2022年度~2031年度	定住人口(常住人口)	9,910人 (2022年度)	6万人増減
第5次総合計画 アクションプラン	2023年度~2028年度	18歳未満の子どもの数 (年少人口の減少はなし)	9,910人 (2023年度)	0増減、上昇、減少の いずれでもよい

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では年少人口の  
推移を示している。少年推計でも、住宅増減を加味した  
推計でも2030年頃には7,300人となっている。[まち・ひと・  
しごと創生総合戦略]は不可能となっている。住宅増減を加味した  
年度だけ8,407人と基準値を超える推計となっている。



今まち・ひと・しごと創生  
総合戦略は本当に必要なのか？  
630万円かけた価値はあるか疑問

中学校の部活 2028年度をめぐり  
地域展開を目指すというのが不安点はいっぱい  
文教厚生委員会で質疑しました。(5月1日)

文教厚生委員会・所管事務調査報告 (2023年5月1日)

中学校部活の地域移行はどうか  
古賀市は2028年9月をめぐりに地域クラブ等への地域移行をめざまうとしています

民生学習推進課の審判(審判)

2024年度のスポーツ系部活の加入率は57.2%、  
1004人、部活数は36。  
●文科系部活は、3中学校で吹奏楽部120人、美術部  
106人、書道部29人、総計254人、部活数は8。  
●スポーツ系の地域クラブ等が36で、それぞれ現在の部  
活がそのまま継続されることにはなる。  
●しかし、楽しみ志向とクラブチーム志向という選択  
的な変化を強いられる。難し  
いのではないかと。

2028年9月までにスポーツ系  
の地域クラブが36、文科系地域  
クラブが8ないと子どもたちは  
大きな変化を強いられる。難し  
いのではないかと。

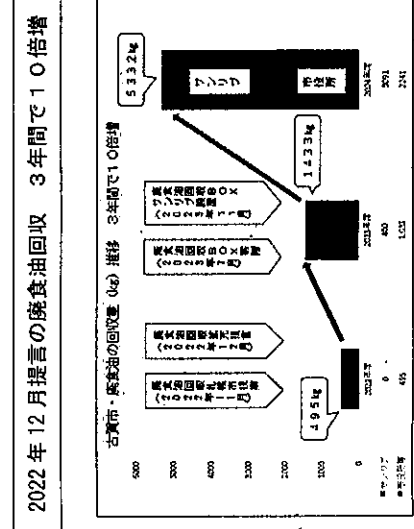
●古賀市は部活動地域移行等  
検討委員会の答申を受け、  
2028年9月をめぐりに部活動は  
地域クラブやスクールへの地  
域展開をめざまうとしてい  
る。3年5か月しかない。

●2025年度は5月中旬から8  
月にかけてスポーツ推進課  
会に部活動地域展開部会を設けて検討することとしている。民生学習推進課がスポーツ  
系部活の、文化課が文化系部活の地域展開の施策を実施する。

●スポーツ庁、文化庁は2028年度・令和10年度までを前期改革実行期間、2031年度・  
令和13年度までを後期改革期間としている。

R5	R6	R7	R8	R9	R10
2023	2024	2025	2026	2027	2028

争和10年9月をめぐりに部活  
は地域クラブやスクール(ス  
クール)へ地域展開をめざま  
う。



小中学校体育館の空調整備計画

文教厚生委員会・所管事務調査報告 (2023年5月1日)

体育館の空調整備はどうか  
2023年度から3年計画で全小中学校に空調設備の導入  
を予定している

年度	導入する学校	導入する学年
2023年度	古賀南中 古賀北中 古賀小 古賀南小	1年生 2年生 3年生 4年生
2024年度	古賀南中 古賀北中 古賀小 古賀南小	1年生 2年生 3年生 4年生
2025年度	古賀南中 古賀北中 古賀小 古賀南小	1年生 2年生 3年生 4年生

2023年度は2022年度に比べて空調設備が導入  
された。2024年度は2023年度に比べて導入したと  
ころ、2025年度は2024年度に比べて導入したとい  
う。導入した学校は2025年度は2024年度に比べて倍増  
であると思われる。

地域医療と市民を結ぶ会  
少子化と産婦人科の現状につ  
いてフォーラムを開催しま  
す。ぜひ参加してください！

原爆と人間展  
古賀市在住の被爆者である立  
花さんがリーパスカレッジの  
講師としてお話しします。

**【スペシャル講座】**  
平和は身近なところにある ー被爆者の話ー

日時：8月9日（土）  
9：30～11：00

場所：② 中会議室 **無料招待**

定員：40人

講師：立花 昌子さん  
日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）会員

内容：今年は、戦後そして原爆投下から80年という節目の年です。戦争体験者から直接お話を伺う機会が減っている今、被爆者である古賀市在住の講師が、自身の経験、見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、「原爆と人間展」パネルを前に解説します。

この貴重なお話を通して、平和について大人も子どもも一緒に考えてみませんか。

古賀市「原爆と人間展」パネル展示  
開会場で8月1日（金）～17日（日）開催

## 2025年度第1回 地域医療と市民を結ぶ会フォーラム

安心して出産・育児のできる地域のために

2010年4月に発足した「地域医療と市民を結ぶ会」（代表：大塚俊夫先生）は、有床診療所や認知症支援、小児特定健診、コロナ対策などについて市民、医療や行政・議会関係者とともに学習してきました。今年度は、まず初めに、少子化と産婦人科の現状を取りあげることになりました。全国では、少子化を背景に、分娩できる病院が無い自治体が増えています。私たちの住む地域はどうなっているのか、安心して出産・育児のできる地域とするために何が求められているのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひ参加してください。



1. 主催者報告：堤 啓さん

（堤医院院長・地域医療と市民を結ぶ会副代表）



2. 講演：「少子化と産婦人科の現状」

講師：工藤 啓士郎さん

（産科・婦人科 愛和病院 事務長）

3. フリートーク：講師と参加者の意見交換

と き：2025年6月27日（金）

18時30分～20時

と ころ：リーパスプラザこが交流館 103洋室

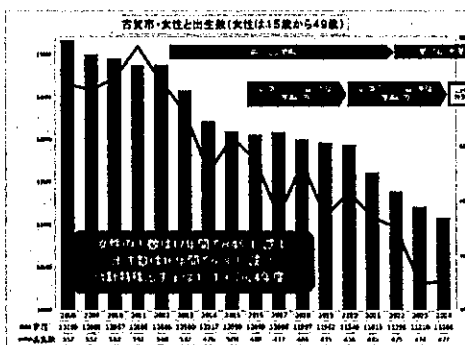
主 催：地域医療と市民を結ぶ会

連絡先：古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103

090-3664-1874（数回）

参加費  
無料

子育て世代の効果ある支援を  
保育料負担軽減のため第1子のカ  
ウント制限撤廃を求めました。



保育料 第1子のカウント制限の撤廃を

文教厚生委員会で質疑しました（2025年4月24日）

ぬま健司の質疑	答弁
保育料については、第1子が全額だが、第2子は半額、第3子以降は無償となっている。ただし古賀市は国の基準にのっとり第1子が小学校に上がるともうカウントしなくなる。	●カウントについては、国や県の動向、近隣自治体の状況や市の財政状況等を踏まえて判断していきたい。 ●福岡市、新宮町では第1子カウントの条件を撤廃した。年齢に関係なく、例えば、20歳の方がいて、そのあとに2歳児の子がいれば第2子とカウントする。
第1子のカウントの制限があると子育て世代、特に二人目、三人目を出産し育児する世代に大きな負担となる。福岡市や新宮町のように撤廃することを検討すべきだ。	●今後については、国や県の制度の変更の動向や近隣の自治体や市の財政状況等も踏まえながら検討していきたい。
同居・近居を選択した子育て世代を財政的に補助することも効果的と考える。子ども家庭センターの所管と考えるかどうか。	●具体的な事業の検討に取りかかるかどうかは別にして、ご指摘の内容は子育て支援の一環になるかなとは思いますが、祖父母を連れて祖家に来るケースもある。広い意味での子育て支援と考えていただいて結構だと思う。
※第2子以降、更には第1子から保育料無償化を検討してほしい。古賀市は18歳までの医療費無償化を先行したが場合によっては見直し、保育料無償化にかじを切った方が子育て支援にとって効果的と考える。	

「ぬま健司の提言詳報（第31号）」 発行日：2025年5月23日 発行者：奴間健司

●事務所 〒811-3113 福岡県古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103 ☎092-944-2639

●自宅 〒811-3112 福岡県古賀市花見東5-4-10 ☎092-943-4427



奴間 健司様

取引年月日：2025年08月20日(水)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-250815468897

**合計金額 (税込) 16,616円**

ラクスル株式会社

10%対象 16,616円 (内消費税: 1,510円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
250815468897-01	冊子・カタログ / 中綴じ冊子 / 左綴じ / 20ページ / A4 / オンデマンド印刷 / 表紙(両面カラー 光沢紙(コート) 標準：90kg 表面加工なし) / 本文(両面カラー 光沢紙(コート) 標準：90kg)	150部	15,106円	出荷予定日: 2025年8月20日 250623一般質問一問一答パンフレット少子化対策

[\*]は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 15,106円
小計 (税抜)	15,106円
合計金額 (税込)	16,616円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

# ぬま健司の提言詳報（第32号）

## 目次

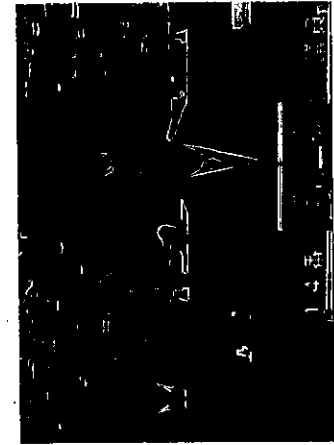
- 田辺市長との一般質問の全記録（6月23日）・・・・・・・・・・ p1～p13  
「もっともっと少子化対策に力を、政治・行政の責任を果たそう」  
<要点>
  - ※「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の課題を指摘し検証。決算審査に引き継ぐ。
  - ※古賀市の人口ピラミッド、子どもの人数別世帯数の推移を新たに示し具体策を提言。
  - ※少子化が産婦人科病院に与える影響を取り上げ、その存続に向けた市の役割を検討。
  - ※第2子以降の保育料無償化、オムツ・ミルク負担軽減、「ママ懇」などを提言。
  - ※兵庫県明石市、岡山県奈義町の子育て支援の先進事例を紹介。
- 一般会計、水道会計補正予算の概要・・・・・・・・・・ p14
- 一般会計補正予算大綱質疑結果（給食費公会計化を巡り）・・・・ p15
- 学校給食費条例の制定に対する大綱質疑結果・・・・・・・・・・ p16
- 学校給食費と賄材料費の関係、浄水場廃止に伴う受水費の追加・・・・ p17
- 6月定例会の特徴、在職25年特別表彰、少子化と産婦人科・・・・ p18
- 参院選結果（2025年7月20日実施）・・・・・・・・・・ p19



写真は一般質問で答弁する田辺一城市長と質問する奴間健司（6月23日）

発行：2025年8月25日  
福岡県古賀市議会議員 奴間 健司





○奴間健司 議場の皆さん、インターネット中継や公共施設モニターを御覧の皆さん、こんにちは。会派・友和の奴間健司です。

今日6月23日は沖縄慰霊の日、沖縄に思いをはせ、二度と戦争を繰り返さない決意を新たにします。特に、子どもたちが戦禍で傷つき、貴い命を失うようなことは絶対に繰り返してはなりません。この瞬間も世界の各地で勃発している軍事行動が直ちに終結することを強く求めます。

さて、私は1年前の一般質問で少子化対策を取り上げました。市長は、少子化に歯止めがかかっていない事象に対し、「政治・行政の責任は重い」と答弁されました。

6月4日の厚生労働省の発表によると、2024年に生まれた日本人の子どもの数は68万6,061人と初めて70万人を下回り、過去最少となりました。異次元の少子化対策も見通せない状況です。1年前の一般質問以降、事態は好転の兆しすら見られません。

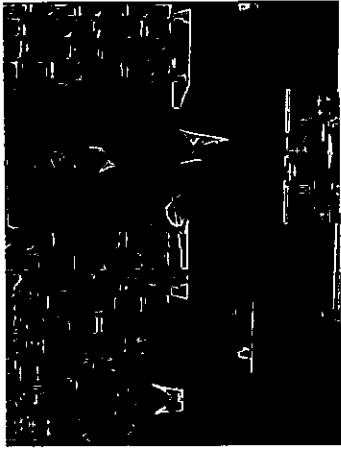
そこで、今回のテーマを「もつともつと少子化対策に力を、政治・行政の責任を果たそう」としました。

1、古賀市の出生数、女性人口、合計特殊出生率、子育て世代の悩みをどう認識しているか。

2、第1期、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証結果を第3期にどう生かしたか。反映したか。有効な総合戦略となった

か。なぜ議会の議決を求めなかつたのか。  
3、少子化が産婦人科病院に及ぼす影響をどう認識しているか。分娩できる病院の存続に向けた対策が必要ではないか。

4、政治・行政の責任をどう果たすか。保育料やミルク、おむつの負担軽減、多子・多胎児支援を加速すべきでは。  
以上、市長の答弁を求めます。



○田辺一城市長 奴間議員の御質問、「もつともつと少子化対策に力を、政治・行政の責任を果たそう」についてお答えをいたします。本市

1点目についてお答えをいたします。本市の出生数、女性人口及び合計特殊出生率の現状から、少子化に歯止めがかかっていない状況にあると認識をしております。若年の女性人口が減少していき、若者の結婚及び出産に関する価値観の変化などから、未婚化、晩婚化及び晩産化の傾向にあることなどが影響し、出生数の減少につながっていると考えられます。

一方、我が国における婚姻件数は、昭和47年にピークとなった後は減少し、第2次ベビーブーム世代が25歳前後の年齢を迎えた平成7年から平成12年に再び一時的に増加し、その後は減少傾向となり、平成27年から令和元年は約60万件で推移をしております。

しかし、コロナ禍となった令和2年以降の婚姻件数は毎年戦後最少を更新し、令和5年度はようやく増加に転じたものの、コロナ禍

前の水準には戻ってはおられません。こうした背景には、結婚や子どもを待つことを希望しないという生き方も尊重される多様性のある社会環境や、子どもを欲しいと思う場合であっても、子育てと両立しにくい労働環境や子育ての経済的、精神的負担感が大きいと感じていることなど、様々な要因があることが指摘をされています。

本市としましては、市民一人一人が安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて、積極的に取り組む必要性を強く認識をしております。引き続きチルドレン・ファーストの理念の下、多様な生き方が尊重される現代社会において、子どもを産みたいと思う方々の希望がかなえられるよう支援を進めてまいります。

また、結婚、出産、子育てといったライフステージの選択が個々の希望に沿って実現できることで、結果として、自然と子どもを持ちたいと思える社会になるよう、様々な方面から施策の展開を図ってまいります。

2点目についてお答えをいたします。第3期古賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たっては、第2期総合戦略における取組の検証や課題の整理を行っており、アンケートやワークショップ等の結果によると、本市の出産・子育て環境は、福岡都市圏の中でも比較的充実している一方、その充実した環境が効果的にPRできていないといった課題があることが分かってきました。また、出産や子育てに関するDXのニーズが比較的高い状況があることも分かってきました。

それを受けて、第3期の戦略では、めざすべき方向性として、若年層、子育て世代に選ばれざるまわりの推進を掲げ、待機児童ゼロなど、これまで展開してきた子ども・子育て支援のさらなる充実を図るとともに、若者雇用対策の推進や結婚、出産、子育ての切れ目のない支援、教育環境の強化を図ることとしております。

また、申請手続のデジタル化による利便性向上、子育ての魅力などに関する情報発信を施策として位置づけており、多様な生き方を認め合いながら、出産や子育ての希望に寄り添う支援を行い、少子化対策についても有効な戦略としてさらなる取組を進めていく予定です。

なお、この戦略は、地方自治法をはじめとする関係法令上、議会の議決を義務づける規定は設けられていないことから、これまでも議決を求める形とはせず、総務委員会等に直御報告させていただきながら策定を進めております。また、戦略に基づいて実施する各種事業等につきましては、それぞれ予算計上や各所管委員会等への報告を通じて、議会の皆様にお諮りしております。

3点目についてお答えをいたします。全国的な少子化の加速は出生数の減少を招いており、最近では2024年に国内で生まれた日本人の子どもの数が、1989年に国が人口動態統計を開始以降、初めて70万人を下回ったという報道も記憶に新しいところ です。

このような人口動態の変化は、産婦人科病院の経営基盤に直結し、全国的に多くの施設が経営難や存続危機に陥っている状況にあると認識をしております。国におきましては、いわゆる「骨太の方針」の中で、地域で子どもを安心して産み、育てることができよう、最先端の医療を含めた小児周産期医療体制の確保を図るため、産科・小児科医療機関を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、医療機関の連携、集約化、重点化を含めた必要な支援を行うことが掲げられております。

一方、本市及び周辺自治体においては、分娩できる病院が存在しており、このことは安心して子どもを産み、育てていく環境として大変重要で恵まれた要素であると認識をしております。今後も産婦人科の存続のために、本市において子どもを産み、育てたいと思っただけでいる人の存在が重要であり、こ

れまでも申し上げておられます。様々なチャルドレン・ファーストの取組を引き続きしっかりと進めていくことにより、子育て世代に選ばれられるまちをめざして取り組んでまいります。

4 点目についてお答えをいたします。少子化は、我が国の社会経済全体に深刻な影響を及ぼす重要な課題であり、その解決には本市のみならず、国家全体で総合的かつ積極的に取り組む必要があります。この問題において、現在の状況は過去の営みの結果であり、その意味で政治・行政の責任は極めて重いという認識を持って、現世代の私たちが取り組むべきものと考えております。

議員の御指摘のうち、保育料については、先日、文教厚生常任委員会で御報告させていただきましたとおり、今般、福岡県は市町村が実施する兄弟児カウント変更による第三子以降の保育料の無償化に対する助成についての予算案を6月議会に上程されたところであり、本市といたしましては、県の動きを踏まえ前向きに検討したいと考えております。

また、ミルクやおむつをはじめ、子育てには様々な出費が伴うことから、そういった部分を財政的に支えるため、国は、令和6年10月から児童手当の所得制限撤廃や高校生年代までの支給年齢引き上げ、第三子への支給額増額など制度的見直しを行ったところです。

このほか、本市独自の子育て支援の取組として、子育て世帯の経済状況に関係なく、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう18歳までの医療費無償化や、多胎児支援として妊婦健診の費用補助、産前産後ヘルパ、一の利用期間の延長や支援内容の拡充、産後ケア事業については費用負担軽減を行うとともに、さらに、多子・多胎児については保育施設等の入所調整に際して点数を加算し入所しやすくなるなど、育児負担を考慮した支援を行うことで、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりのための様々な施策を実施しております。

本市といたしましては、令和7年度から5か年を期間とする「古賀市子ども計画」を策定したところであり、全ての子どもが幸せであり続けるチャルドレン・ファーストのまちを基本理念に掲げ、地域社会全体で計画の推進を図ることとしています。本計画の理念に基づき、今後引き続き子どもも真ん中社会の実現に向け、様々な子育て支援対策に着手に取り組んでまいります。

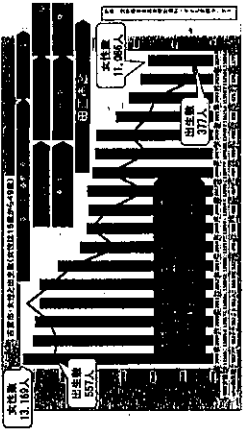
○奴間健司 今朝も家を出てくるときに、娘家族から声をかけられました。「頑張っただけではなく、「肩の力を抜いてね」でございまして。そのアドバイスを守っていきたくと思います。

少子化対策を論ずる際の前提を述べておきたいと思えます。結婚や子育てを望む人の希望がかなえられ、安心して家庭生活を送ることができ、社会全体で子どもを育む。そんな状態をめざすというのが前提。結婚や子育てについて多様な考え方や様々な事情があることをしっかりと認識し、尊重すること、子どもがもう一つの前提。この前提の下で、少子化の厳しい実態を受け止め、これまでの対策の効果を検証し、改善を図りたい。今日的前提ですが、共有していただけたでしょうか。

○田辺一城市長 はい、共有できます。古賀市の少子化 今後10年がラストチャンス

○奴間健司 少子化の厳しい実態を受け止め、これまでの対策の効果を検証し、改善を図る、この点に集中したいと思えます。

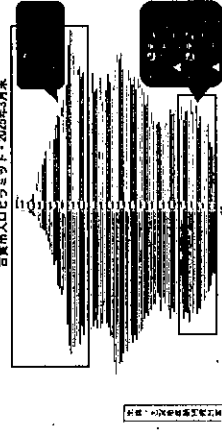
まず、現状認識です。先ほどの答弁では少子化に歯止めがかかっていないという答弁がありました。画面をお願いします。赤い折れ線グラフは、2008年から2024年までの古賀市における出生数、2024年は377人で17年間で67%に減少。青い棒グラフは15歳から49歳までの女性の人数を示し、同じ期間に84%に減少。これらは、文教厚生委員会に毎年丁寧な報告していただいているデータを基に作成いたしました。



ました。これに総合計画や子ども計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略をかぶせてみると、現状打開できていないことが分かります。田辺市政の6年間に大きな減少幅となっている事実も明らかになります。現状認識として、直近の5年間に激減していること、これまでの計画の効果の検証が求められていること、そこがポイントだと思いますが、市長、いかがでしょうか。

○田辺一城市長 そこだけがポイントではありません。少子化の傾向というのは、先ほどの第1答弁で申し上げたように、さらに昔から現出してきた。さらに、新型コロナウイルス禍というものがこの国家というか世界を直撃している。そうした種々多様な要素があるっての減少だと認識をしています。

○奴間健司 現状をまず押さえていきたいと思えますので続けていきます。画面をお願いします。



これは、古賀市年齢別統計表を基に、私が作成したいわゆる人口ピラミッドです。下が0歳、上が105歳以上、2025年3月末の最新のデータです。かなり苦勞して作りまして、御覧のとおり、65歳以上は1万7,046人、前

年度比272人の増。18歳未満は9,787人、前年度比127人の減。15歳未満は7,978人、前年度比176人の減。一目で70代後半と50代半ばは大きく膨らんでいる。一番下の9歳以下は大きく縮んでいることが一目瞭然です。

先ほど市長がコメントされたこれまでの政策、取組の結果がこの表に凝縮していると思います。15歳未満の1人が65歳以上の高齢者2.1人を背負っているというのは計算上の問題ですが、古賀市でも言えると思います。このグラフはいろんなことが読み取れると思えますが、市長、いかがでしょうか。

○田辺一城市長 先ほど第1答弁で申し上げましたベビーブームの影響がグラフ情報では出ているんだらうと。ただ、ベビーブームの影響が次の世代に伝わらなかつたところ、それが、社会の価値観の変容を表している面もあるとも思っています。そうした意味において、全国的にも同様の状況にあると思えますし、今お示しいただいたグラフは参考になるものと思えます。

○奴間健司 実践的にこのグラフをどう見かですが、50代半ばの世代が大きい幅になっているのですが、これがあと10年以降になると65歳以上に上がってきてますね。そうすると、完全に逆ピラミッドになるのか、それに近い状態になるかな。その結果、医療、介護、福祉、そして、地域コミュニティの維持が極めて困難になるのではないかと。

そこで、今後10年間で少子化対策の非常に重要な局面、逆に言うとラストチャンスではないか、そんなふうに見取れると思うんですね。こうした認識を持って議論を深めていきたいのですが、市長、いかがでしょうか。

○田辺一城市長 ラストかどうかは言及しにくいですが、捉え損なってきたのか、そういった歴史もすごくよく分かるグラフだと思えます。○奴間健司 私が先見性もなく、10年、または20年頑張らなきゃいけないと言おうの



ということを考えますと、議決事項とするの  
に、今の時点で判断するというのはちよつと  
厳しいものがあるのかなと思っております。

○奴間健司 この総合戦略策定にはコンセンサル  
に660万円を委託しています。内示額1,760  
万円の地方創生推進交付金を獲得するために  
必要だったという説明もありました。

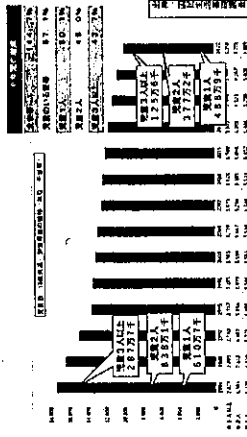
しかし、本質問題は、少子化にとって有効  
な戦略になっているかどうかが評価の基準で  
す。市長、交付金を獲得するために内容は二  
の次、策定が前提だというお考えあります。

○田辺一城市長 いや、総合戦略の策定、本  
当、担当職員中心に全庁的にしつかりつくら  
せていただいたという戦略を使うというのも重要な  
視点です。

総合戦略の検証 決算審査につなげる

○奴間健司 地方主権の時代にふさわしい計  
画づくりにあつても含めて、この議論は決算審  
査につなげていくつもりです。

成果指標について、今、私、私、いろいろ指摘  
したんですが、私なりの提言があります。画  
面をお願いします。



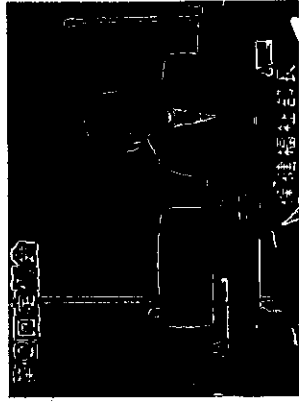
これは、国民生活基礎調査を基に作成した  
グラフ、1986年から2022年までの18歳未満  
の子どもの人数別世帯数の推移です。青が子  
ども1人、オレンジが2人、緑が3人以上、  
2022年では1人が約490万世帯、2人が377  
万世帯、3人以上が126万世帯となっています  
。36年間の減少率は、子ども1人世帯が  
20%減なのに対し、2人世帯は55%減、3人

以上が56.3%減となっています。

ここから読み取るべきことは、2人目、3  
人目の出産を踏みとどまらせている理由は何  
なのか。逆に言えば、2人、あるいは3人以  
上産んで育てているママ、パパの体験談に少  
子化対策のヒントがあるのではないかと  
ことなんです。市長、このグラフは今日初め  
てお見せしましたが、どんな感想をお持ちで  
すか。

○田辺一城市長 まず、やはり少子化というの  
はかなり昔から進行してきているということ  
が言えるということと、もちろん今、議員お  
っしゃった多子世帯、2人以上世帯、子ども  
を2人以上持ちやすいような社会つくらな  
きゃということも大事ですし、大前提として経  
済、雇用環境の悪化も影響しているんだらう  
と思っております。

○奴間健司 厚生労働省の統計担当者に一般  
市、つまり古賀市のようなところのデータは  
ないんですかと電話でお尋ねしました。残念  
ながら都道府県、政令指定都市までとのこと  
でした。市長、古賀市は、年間で生まれる赤  
ちゃん400人以下でございます。国勢調査  
などから子ども1人世帯、2人世帯、3人世  
帯はどのぐらいあるのか、これを把握するこ  
とは可能ではないかと私考えたんすね。チ  
ャレンジしてほしい。いかがでしょうか。



○宮上洋子保健福祉部長 今、議員が御提案  
いただきました内容も含めまして、今後、数  
値的なものが見つかるかどうかも含め検討し

てまいります。

○奴間健司 今日は私の新しい提言です。こ  
の1人、2人、3人以上世帯が古賀市でどう  
いう実態なのか、これを把握すること。そし  
て、KPIを設けるのであれば、15歳未満の  
年少人口の基準値を維持するという捉えどこ  
ろのないKPIよりは、ここに着目したほう  
がより実践的ではないかと思っております。今  
日提言しています。実態把握については今後  
検討するということなので、これをKPIに  
設定すると、ひよつとしたら新しい戦略がで  
きるんじゃないかと思うのですが、市長、い  
かがでしょうか。

○田辺一城市長 子ども2人目、3人目、それ  
以上がある状況をきちんと把握する、その意  
義は議員御提言のようにあると思います。た  
だ、果たしてそのKPI、仮に設定したとき  
に、その数字の変動というのが古賀市の施策  
だけの影響なのかということもあるうかと  
思います。申し上げたように、この国家の社  
会、経済、雇用状況というのが変化してきて  
いることも影響すると思っております。そうい  
った意味ではそこは慎重に考える必要もあ  
るかなと思います。

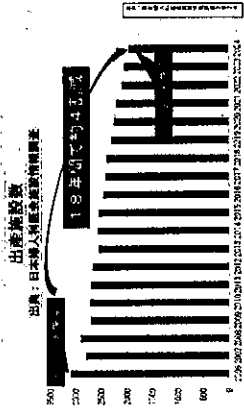
○奴間健司 これは、統計をどう見るかとい  
うよりは、私、ママコンという子育て最中の  
ママたちを集まってもらったんです。何で2  
人目、3人目を産んだのか、産む決断できた  
のかっていう話聞くと、もうこれは様々な事  
情があるけど、物すごいヒントに富んでいる  
んですね。また後で触れます。

少子化が産婦人科病院に及ぼす影響は深刻  
次に、出産、分娩、安心してお産できるこ  
とが、赤ちゃん誕生の第一歩であること、こ  
れはもう明らかであります。今回、初めて、  
少子化が産婦人科病院に及ぼす影響を尋ねま  
した。先ほどの答弁では、経営難、存続の危  
機、ただ、この地域では恵まれている。やっ  
ぱり赤ちゃんをここで産もうとする人の存

在が大事という答弁だったと思います。  
ところで、市長は、日本が分娩空白列島に  
なりつつあるという指摘があるのですが、聞  
いたことございますか。

○田辺一城市長 その文言自体は別としてで  
すね、先般の全国市長会もそうですけれども、  
様々な首長の集まりの場で、うちなんかより  
もかなり深刻な地域、分娩施設がもう自治体  
にない、近辺にもないみたいないところが多  
く現出していることは把握していますので、  
恐らくそういう認識でよろしいければそ  
ういうことかなと思います。

○奴間健司 実態をお見せしたいと思いま  
す。画面をお願いします。



これは、日本婦人科医会の施設情報調査を  
基に私が作成したグラフです。2006年から  
2024年までの出産施設数、分娩ができる病院  
などの推移を示しています。18年間に3,098  
あった施設が1,956に減少、約4割激減とな  
っています。

NHKが2月に放送したクローズアップ現  
代では、出産できる病院がない市町村は約6  
割に達し、まさに「分娩空白列島」になって  
いるとのことでした。産気づいて、お父さん  
に運転を頼み、車で病院に向かう途中、車中  
で出産し、赤ちゃんが低体温症になったな  
ど、極めて深刻な事例が報告されています。こ  
の対策は国や県の責任ですが、対応が  
後手後手となっています。先ほどの答弁で





んです。ただ、どうも聞いてみると、子どもは遊ぶんです。私も孫を連れてつたら子どもは遊ぶ。だけど、行った親が、私みたいなじいじが行くとすね、来てお母さん、どう交流していかちよと戸惑う場面もありますね。私の場合特例も分らないけれど、やっぱりママたち同士が腹割って話せるか、苦しいときに苦しいと言え関係とか、ちよとそこのとこなんですよ。だから、ママコンというのは結構大事なので、何か見えてくる。もうちよとお話分けて付けたら、行政はこんな話だけじゃなく、もうちよと踏み込んでほしいんです。どうですか。

○田辺一城市長 子ども会育成会であったりPTAという組織が厳しくなっている現実の中ですね、いや、それでもやはり何かをきっかけに同じ世代、特に子育てをしている者同士がつながれる場の重要性というのを御提言いただいたら、これは去年に続いてママコンのススメなんです。ひたすらひたすら、可能な限り2人、3人、4人と育てているママやパパの声を集める。何か押しつけてるんじゃないんです。何かやったら何かからすね、何やってもなかなか少子化に歯止めがきかないこの現実を、少しでも何か打開できるものを見いだせるんじゃないか、何かそういう予感があるんですよ。

市長は、こういうことを言うと御教示お願いしますなんて言われるとね、教示しなきゃいけないと思うけど、そうじゃないんですよ。何か見えそうだと手応えを感じてる。そこなんです。どうですか。

○田辺一城市長 子どもを多く欲しいと望む人が、産み、育てやすい機運というのが大事だと思ってる。いろんな要因がありますよ。ね、経済、雇用情勢とかいろいろあります。やっぱりそういう思いが共有されて

う機運につながるの大事だと思えますので、そういう意味では、今、議員の御提言というのは大事な視点だと思えます。

今後10年間で非常に重要な期間  
○奴間健司 今日いろいろな限られた時間の中で、具体的な提言もささげたいと思います。総戦略の話からママコンの話まで、時問ちよと足りませんね。また、ゆくりやりたいんですが、ただ、今後10年間で非常に重要な期間であるというところは強調させてもらいます。そういう意味で、今日のやり取りから何か新たな気づきなり、今後の少子化の歯止めなり、市長、メッセージを發していただきたいんですが、いかがですか。

○田辺一城市長 少子化対策においては、個別、具体的政策は大事ですけども、もうそれだけではなくて、今申し上げたような国家、この世界全体の社会情勢、経済情勢、雇用情勢、また、一人一人の御家庭だったり個人の思いですね、子どもと一緒に大人も歩んでいきたい、こういう思いをしっかりと持ち得るかといった機運だったり様々な要因があります。そうした要因を、個別、具体も大事ですが、全体としてどうやってそういう会社をつくっていくか、そういう意味では理念の打ち出しが大事だと思えます。

事例もありましたけれども、本市は未来への責任を果たすために次の世代、またさらにその先の世代のことも意識したチルドレン・フーストというところで御説明もしてきています。こういって行政としての責任、引き続きしっかりと果たさなければと思うやり取りをさせていただきます。

10年でも20年でも頑張る  
○奴間健司 子どもたちの笑顔にあふれ、いつまでも続くためにはどんな苦勞も惜しまない。あと10年でも20年でも頑張るという決意をお伝えして、本日的一般質問を締めくくります。ありがとうございます。

## 一般会計補正予算（第2号）の概要

### 学校給食公会計化に向けた補正が特徴

2025年8月定例議会・2025年度一般会計補正予算（第2号）1億8989万7千円の増額補正 繰入歳出予算の総額 308億2327万9千円 学校給食公会計化に伴う経費材料費の追加	
6月12日に大綱質疑、18日の補正予算特別委員会等審議、25日の最終日本会議で討論・採決	補正予算額 内 容
本経路から補正予算の料金を整理して提示されました。これまで私が精査してきたことが反映されたと言えます。	
●一般会計の補正内容 ○現行予算から追加の増減に対応する事業や新たな取組に伴うもの (1) 「市独自の」学校給食の公会計化に伴う経費材料費の追加（1億8989万7千円） (2) 全国同時実施システム（Jアラート）の新型受信機への更新経費の追加（513万7千円） (3) 青森区が採択されたことに伴うコミュニティ型給食センターの追加（110万円） (4) 財政改正等に伴う生活保護システム改修経費の追加（66万8千円） ○全国同時実施システム（Jアラート）の新型受信機への更新について地方債を要するもの	
1億8989万7千円 （学校給食センター）	●現在、一般会計（一般会計）にて管理されている児童生徒の保護者等より徴収した学校給食費（歳入）及び給食材料費（歳出）を計上し、一般会計にて管理するもの。9月から公会計化。
110万円 （まちづくり推進費）	●青森区が申請したコミュニティ型給食センターに併い、地域のイベント等を使用する居間設備の購入等の一部を補助するもの。一般財団法人自治総合センターから補助を受けるもの。
513万7千円 （総務費）	●全国同時実施システム（Jアラート）の受信機を新型に更新するもの。財源は緊急防災・減災事業費。
56万8千円 （福祉費）	●国の財政改正等に伴い、システムを改修するもの
●国庫支出金 28万4千円 ●地方債 310万円 ●その他 1億8419万2千円（保 険者が負担する学校給食費） ●総計額 2億7千円	

## 水道会計補正予算（第1号）の概要

### 浄水場廃止に向けた補正が特徴

2025年6月定例議会・2025年度水道事業会計補正予算（第1号）5685万6千円の増額補正 収支的支出の予定額 11億8642万円 浄水場廃止に伴う動力費及び薬品費の減、薬水費の増	
6月12日に大綱質疑、18日の補正予算特別委員会等審議、25日の最終日本会議で討論・採決	補正予算額 内 容
●動力費 54万5千円 （現状活性成分分析業務委託） ●動力費 50万9千円減 （浄水場電力料） ●薬品費 950万4千円減 （ホリ塩化アルミニウム分） ●薬水費 717万6千円増 （北川市水道用浄水供給事業薬水費）	
566万6千円 （上下水道費）	



# 学校給食費と賄材料費の関係 給食の質確保がポイント

<p>2025年度一般会計補正予算(第2号)の特徴                  学校給食費公会計化に伴う学校給食費(歳入)と賄材料費(歳出)の追加                  1億8309万2千円                  6月12日大朝質疑、18日補正予算審査特別委員会</p>	
<p>＜数見込み＞                  小学校(教職員分等含む)の食数は435、295食                  中学校(教職員分等含む)の食数は225、954食                  ※1食あたり277円</p>	<p>＜徴収見込み＞                  前年度と同じ99.7%                  (1億8,309万2千円÷561,250食)</p>
<p>新たな徴収方法と体制</p>	<p>●令和7年度:公会計化後も学校給食費の徴収業務等を各学校に委任することから学校給食費の徴収方法等に変更はない                  ●令和8年度:口産振替の手法を主とした市への直接納入とし、学校給食センター職員が学校給食費の徴収業務等を行う予定                  ●令和8年度以降の体制:業務量に応じた適切な人員配置に努める</p>
<p>スケジュール</p>	<p>●令和7年9月 公会計化への移行を予定                  ●令和7年12月 保護者納入方法等周知                  ●令和8年4月 市において徴収業務等を実施</p>
<p>&lt;コメント&gt;①徴収した給食費と賄材料費の関係、徴収窓口にかかわらず必要な財源は確保する責任、給食の質の維持について質疑したいと思う。②給食費徴収に関するシステム導入時期について確認したい。</p>	

# 浄水場廃止に向けた受水費の追加

7月1日から4千トンの増量

<p>2025年度水運事業会計補正予算(第2号)の特徴                  浄水場廃止に伴う受水費の追加 7,175万4千円                  6月18日補正予算審査特別委員会</p>	
<p>概算内訳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今回増量する水運 685,000m<sup>3</sup></li> <li>●単価(概算) 95.24円/m<sup>3</sup></li> <li>●期間 令和7年7月1日から令和8年3月31日までの増量分</li> <li>●現在、北九州市からは北九州市圏管轄の浄水場を通じて、約2000の管轄で医王寺配水池に送水を受けている。</li> <li>●しかし、4,000m<sup>3</sup>の増量に対応するため、約350の管轄への更新工事を実施中。工事が完了するまでは、一時的に古賀浄水場に水を運入し、その後、医王寺配水池に送り、各家庭に供給</li> <li>●約350への管轄更新工事が完了する令和8年度末までは、古賀浄水場を迂回しての受水となる。</li> <li>●浄水場跡地の活用に関しては、今後も引き続き検討を進める</li> </ul>
<p>浄水場の廃止までの工程</p>	<p>&lt;コメント&gt;①浄水場の廃止は2025年7月1日をもって終わるが、漏れとして2026年度末までは北九州市からの受水受け入れを継続して役割を果たすということがある。                  &lt;コメント2&gt;追加&gt;公共施設を廃止する際には設置廃止を廃止することが基本と悪化される。浄水場についてはどのような手順が必要なのか。(設置廃止がないようだがそのようなことはあり得るのか)</p>

# 古賀市議会・2025年6月定例会の特徴と問題意識

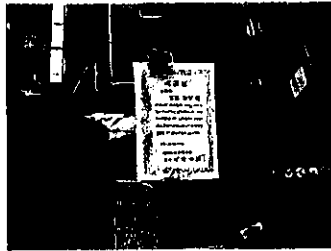
ぬま俊博のまとめ(7月14日の審議に提出した文書に基づき整理)

<p>①学校給食費条例と一般会計補正予算(第2号:1億8389万7千円の増額補正) = 学校給食費の公会計化に伴う課税                  ②水道会計補正予算(第1号:5885万6千円) = 浄水場廃止に伴う動力費及び薬品費の減、受水費の増                  ③議会棟改修工事請負契約(最終日追加課税1億9926万2800円、松本建設、6社のうち2社辞退、4社でくじ引き決定)                  ④14名が一般顧問を行った。防災担当部署の強化、少子化対策の拡充、次期議員工場の在り方など重要な提案があった。                  ⑤福岡県が第3子の妊娠料無償化を独自に進めたことに対し古賀市は前向きに検討する考えであることを示した。私は、その上で福岡市や新宮町のように第2子以降の無償化に踏み切ること求めた。                  ⑥3名が3議案に対し賛成討論を行った                  第38号議案(学校給食): 森議員                  第39号議案(一般会計補正予算): 大塚議員、坂間議員                  第37号議案(水道会計補正予算): 坂間議員                  私は少子化対策に絡めて、第3期まろ・ひと・しこと創生総合戦略(80万円かけて策定)の効果等を検証した。そこには「決算審査は6月議会から始める」という問題意識があった。9月定例会の決算資料を受け取ってから決算審査を考えるようでは対応できないという視点である。</p>	<p>特徴</p>
---	-----------

2025年6月定例会の特徴  
 議会棟改修工事請負契約が追加提案  
 「決算審査は6月定例会から」を意識

# 市議在職25年特別表彰

全国市議会議長会から市議会議員在職25年特別表彰を授賞しました。6月定例会閉会後に渡議長から伝達されました。長年にわたってご支援いただいたいる皆さんに改めて感謝します。今後も生涯現役をめざし、10年、20年先を見据えて歩み続けたいです。  
 (2025年6月25日)

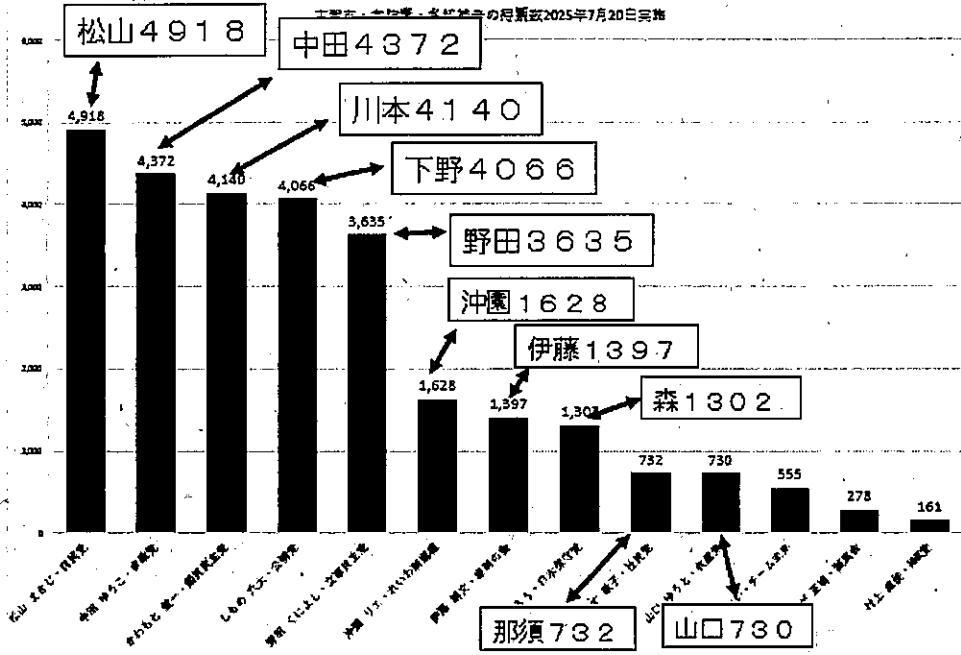


# 少子化と産婦人科

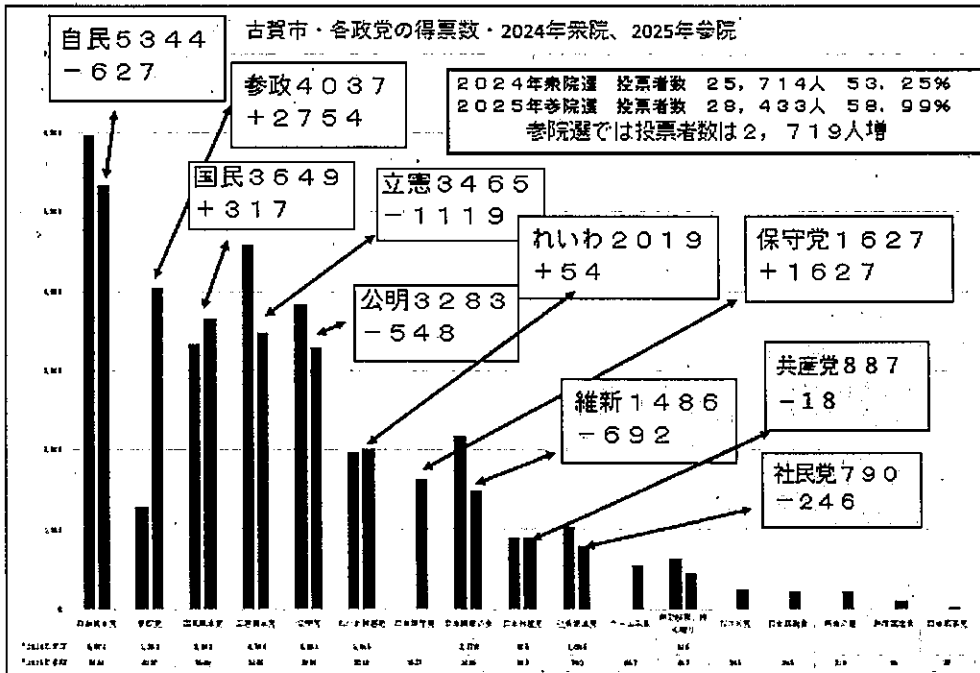
「地域医療と市民を結ぶ会」愛和病院の工藤事務長を講師に少子化と産婦人科の現状を考えるフォーラムを開催。「分べんできる病院が消える」という危機感を共有しました。  
 (2025年6月27日)

# 参院選結果 (2025年7月20日実施)

◆自公、参院でも少数与党に ◆国民、参政が「躍進」



◆古賀市・各候補者の得票数  
投票率は58・99%



◆古賀市・各政党の得票数  
◆2024年衆院選との比較

「ぬま健司の提言詳報 (第32号)」 発行日: 2025年8月25日 発行者: 奴間健司

●事務所 〒811-3113 福岡県古賀市千鳥 2-3-7 安部ビル 103 ☎092-944-2639

●自宅 〒811-3112 福岡県古賀市花見東 5-4-10 ☎092-943-4427

3

4

領収書 N.077928  
 登録番号: T6290001012621  
 奴間 健司 様

ご利用金額 ¥37,820- (クレジット)  
 上記の金額を領収しました。税10%

購入商品 JR乗車券類  
 年月日 2025年10月22日

九州旅客鉄道株式会社  
 古賀駅POS001発行

納入通知書 (納付書) 兼領収書

新城市  
 市町村コード  
 232211

通知書番号	0041013-001	予算区分	0
所属	150200 市民自治推進課		
納入義務者 [REDACTED]			
奴間 健司 様			
年度	会計	款	項 目 節 細節 細々節
7	01	22	04 02 10 85
金額		3,000 円	
事由 11月12日分行政視察受入収入			
納付期限 令和 7年12月26日 上記のとおり納付してください。			
令和 7年11月 5日			
新城市長 下江洋行			
【納入場所】 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]			
市役所 鳳来・作手総合支所 上記の金額を領収しました。			
(納入者保管)			



領収書

5

発行日: 2026/03/29

ぬま けんじ様

予約番号: T61777ADE4770

施設名: ホテルルートイン新城

チェックイン日: 2025/11/12

チェックアウト日: 2025/11/13

部屋タイプ: ◇禁煙◇シングル (同フロアに喫煙コーナー有)

部屋数: 2

合計金額: 16,000 円

摘要: 宿泊代として (クレジットカード払い)

ご利用ありがとうございました。

内訳

10%対象 16,000 円 (内、消費税: 1,455 円)

8%対象 0 円 (内、消費税: 0 円)

課税対象外 0 円 (内、消費税: 0 円)

合計 16,000 円 (内、消費税: 1,455 円)

トリブラ株式会社

登録番号: T8012701013115

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-15-3

住友不動産西新宿ビル

上記の  $\frac{1}{2}$  が 旦那 健司 分  
 $\frac{1}{2}$  が 大隈 慶太郎 分

愛知県新城市 若者議会並びに Z 世代課視察報告書

1 名称	愛知県新城市 若者議会並びに Z 世代課視察
2 目的	愛知県新城市が 10 年にわたって取り組んできた「若者議会」の経験に学び、古賀市の若者対策に生かすこと。また同市が Z 世代課を立ち上げ、20 代の職員の声を基に組織風土改革の取り組みに学び、古賀市における若手職員の離職防止やモチベーションアップに生かすこと。
3 実施時期	2025年11月12日 13時15分～14時45分 若者議会 (4団体合同) 15時～16時30分 Z世代課
4 実施場所	愛知県新城市役所庁舎
5 参加者	奴間健司、大隈慶太郎

6

視察結果報告(政務活動費活用) (2025年11月12日)	
愛知県新城市の若者議会に学ぶ	
説明して頂いた方	◎市民協働部市民自治推進課の牧野賢二課長 ◎奥谷義徳副課長兼係長 ◎加瀬川尾金主事 ◎加藤崇々主事
調査項目	要 要
◎若者議会の成り立ち 10年の歴史	・2012年 海外のニューキャッスル市と交流。ヨーロッパでは当たり前な若者議会。帰国後の若者がボランティア団体立ち上げ ・副市長が「若者が活躍するまち」をマニフェストに掲げる ・「市長が変わっても若者議会が続いてほしい」 ・2014年 新城市若者条例、新城市若者議会条例を制定 ・2015年 第1期若者議会結成。現在第11期。
◎位置づけ 組織	・予算提案権を持ち、若者自らが自分のまちのことを考え、政策立案する市長の付属機関 ・委員(定員20人)、市外委員(定員5人)、メンター市民、メンター職員、事務局(市民自治推進課、職員3人)。任期1年(再任可) 報酬 3,000円/日 ・市内在住、在学、在勤のいずれかでおおむね16歳から29歳まで
◎1年の流れ	2月～3月メンバー募集→4月開催→5月所信表明→6月～7月検討期間→8月中継報告→9月～10月検討期間→11月市長答申→12月～2月検討期間→2月議会と意見交換→3月市長答申→4月以降事業実施(答申事業は翌年度に市の各担当課が実施) ・約5か月かけて市長答申、答申後も具体化に向けた検討 ・委員は約30回の会議等に出席
◎応募状況 委員構成	・第11期の場合：市内委員応募は20人、市外委員は6人 ・第11期の構成：高校生委員17人、大学生等7人(内市外4人) 一歳1人(市外委員)
◎報酬支給	・第11期の場合 委員：29回、平均支給額63,600円、市外委員：19回、平均支給額55,400円、メンター：24回、平均支給額73,125円 ・報酬、交通費等の事業費は450万円/年。
◎答申実績 予算額	・2015年度～2024年度に50事業、予算総額約6千万円 ・「ふるさと持続総リノベ事業」(図書館2階の郷土資料室を学生が勉強した <sup>1</sup> 、 <u>気候に葉まひ話せる多目的空間にリノベ</u> 。予算額：416万9千円)
◎人的成果	・若者議会経験者から市議員に2人、市議員に6人。
感想	古賀市は高校生リノベメンター事業を行っているが、新城市の若者議会を参考に意識した方がよい。若者の自主性や主体性を重視すること、条例に基づいた取り組みであること、検討から計画まで時間をかけていること、若者に報酬を支給していること、予算提案権があり計画が事業化されていること、事業者に委託せず職員や市長がサポートしていること等は大いに学び、古賀市の取り組みに反映すべきと感じた。

視察結果報告(政務活動費活用) (2025年11月12日)

愛知県新城市のZ世代課の取り組みに学ぶ

説明して頂いた方	①新城市企画部総合政策課の杉下成利課長 ②Z世代課の加瀬川雄貴課長(市民協働部市民自治推進課主事)
調査項目	概 要
①プロジェクト名	組織文化変革プロジェクト「プロジェクトZ」チーム名：Z世代課
②目的	Z世代を中心とする若手職員の価値観の変化に鑑み、時代に即した組織文化を醸成し、職員のウェルビーイングの向上に寄与すること
③調査期間	2025年6月1日～2026年3月31日。来年2月に市長報告を予定。
④メンバー	応募した全員20代の職員5名。(男性3名、女性2名) リーダーを「課長」と称する。新城市が10年間取り組んでいる「若者議会」の経験者が市職員となり、今回の「課長」となった。(良い循環となっていると感じた)
⑤所掌事務	A)Z世代の職員が認識している組織文化の現状把握に関すること B)問題解決の研究に関すること C)組織文化醸成に関する提言書の作成に関すること D)市長への成果報告に関すること
⑥ワークエンゲージメント向上を成果目標とした理由	個人の仕事に関連するポジティブで充実した心理状態を指す言葉で、「活力」、「熱意」、「没頭」と特徴づけられる。リクルートの2020年調査結果では、ワークエンゲージメントが高い人は低い人と比べて離職意向が低水準で組織への帰属意識も高い傾向にあると判明。そうしたことからこの課題目標が有効と判断。
⑦背景	若者議会を推進しながら、若手職員の声を活かす取り組みが置き去りだったこと。直近5年の離職は6人～18人で、その半数が入庁10年未満の若手が占めていること。
⑧活動状況	ミーティングを7回開催。Z世代が考える組織文化やワークエンゲージメントに関する調査を実施。現在調査結果を分析中。
⑨予算	勤務時間中に活動するための事業予算はない。
⑩反響	時事通信社の「J&J」で当日アクセス数1位等を記録。共同通信社から全国の新聞社に配信され全国規模で認知。(私も西日本新聞で新城市のZ世代課を知った)
感想	古賀市も離職者が増加傾向で2024年度は9人。その内20代、30代が4人。プレゼンティーズム(業務効率の低下)で約3億円のコスト損失が生じているという試算もある。新城市に学び若手職員の声を聞き、組織文化の改善並びにワークエンゲージメント向上に関する提言を求めた方が良いと痛感する。この課題は急務と考える。

6

— 領 収 証 —

令和7年11月22日

古賀市議会議員 奴間 健司 様

NO.5

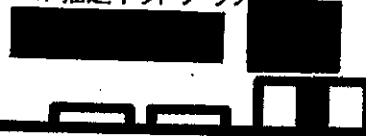
金額 4,000 円

但し書 [大津市議会のキセキ～軌跡と奇跡～]輝け！議会 対話による地方議会活性化 勉強会 in 大野城の受講料として、上記正領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

表



支出内訳書の番号 4	
輝け！議会 対話による地方議会活性化勉強会 in 大野城報告書	
1 名称	輝け！議会 対話による地方議会活性化勉強会 in 大野城 【主催】輝け議会!! 対話による地方議会活性化フォーラム
2 目的	滋賀県大津市議会における議会改革がなぜ進んだのか、大津市議会前議会局長の清水克士さんの経験に学び、古賀市の取り組みに生かすこと。
3 実施時期	2025年11月22日
4 実施場所	大野城市まどかびあ 306 会議室
5 参加者	奴間健司
6 その他	<p>(1) 改革実績 ①議会版 BCP を全国で初めて策定 ②政務活動費改革で議長の措置命令権の設置 ③政策検討会の設置で全会派参加のもと政策提言を強化大学とのパートナーシップ協定で学生インターシップを受け入れ ④議会図書室改革で政策立案の根拠として司書によるレファレンス ⑤意思決定条例の制定（議長の決定） ⑥会議規則の廃止</p> <p>(2) 議会の機能 ①行政監視機能（法定：検査権、監査請求権 法定外：一般質問） ②政策提案機能（法定：条例制定権 法定外：決議、提言） ③住民広聴機能（法定：公聴会、参考人招致 法定外：議会報告会、モニター）※努力の方向が間違えているケースが多い。公式会議録に市民の声を残す取り組みが軽視されている。</p> <p>(3) 立法趣旨とのずれを是正する ①一般質問に力を入れるが議案審査はスルーするのはおかしい ②議選監査で執行機関に入るのはおかしい ③議長任意2年は脱法行為</p> <p>(4) 住民と歩む「未来を語る議会」へ 重要な行政課題に関する住民意見を、議会場で聴取し、公式会議録に残すことは議会だけができる広聴。住民意見を基に議員間討議を行い合意形成し、政策立案することが理想形。「政策サイクル」、「評価システム」、「チーム議会」の確立がポイント。</p> <p>(5) その他 議員は特別職なので本来は「研修不要」、しかしそうは言っていないので研修の機会を作る。</p> <p>※「お米券」など交付金の使い方とその効果を検証するのは議会の重要な役割。</p>

領収書

7



奴間 健司様

取引年月日: 2025年12月01日(月)

下記正に領収いたしました。

領収書番号: R-251125525655

合計金額 (税込) 18,297円

ラクスル株式会社

10%対象 18,297円 (内消費税: 1,663円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号: T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
251125525655-01	冊子・カタログ / 中綴じ冊子 / 左綴じ / 16ページ / A4 / オンデマンド印刷 / 表紙(両面カラー 光沢紙(コート) 標準: 90kg 表面加工なし) / 本文(両面カラー 光沢紙(コート) 標準: 90kg)	190部	16,634円	出荷予定日: 2025年12月1日 251125第3回定例会報告パンフレット討論特集

「\*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 16,634円
小計 (税抜)	16,634円
合計金額 (税込)	18,297円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

# ぬま健司の提言詳報（第33号）

## 目次

### ● 討論を考える

- 一般会計決算&国保会計・賛成討論全文（9月30日）・・・p1～p3
- 財産の取得に対する賛成討論全文（9月30日）・・・p3～p4
- 討論の目的、最終日の本会議における討論一覧・・・p4
- 討論のあるべき姿をめざす！ トピック：高市政権発足・・・p5

### ● 決算審査を振り返る

2024年度一般会計決算の特徴、決算審査は6月から始めるべし！

- 提案理由説明改良の効果・・・p6～7
- 産前産後ヘルパー利用増加、18歳までの子ども医療費無償化・・・p8

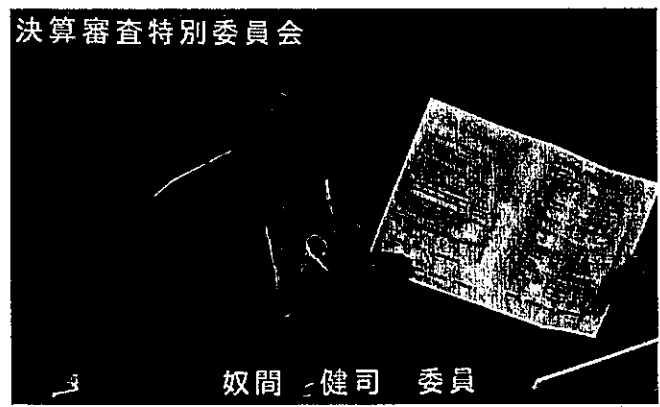
### ● 所管事務調査報告

- 8月豪雨災害、薬王寺・快生館インキュベーション収支報告・・・p9～10

### ● 予算編成に向けた市長メッセージの特徴と疑問点・・・p11

### ● 愛知県新城市「若者議会」、「Z世代課」視察報告・・・p12～13

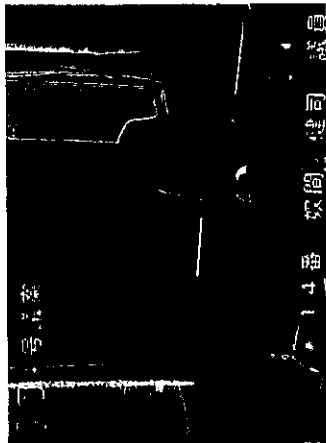
### ● 文教厚生委員会「子ども会議」、「認知症施策」視察報告・・・p14



写真左は補正予算質疑（9月10日）、右は決算質疑（9月22日）  
参考資料を提示しながらわかりやすく具体的に質疑を行っています

発行：2025年12月5日  
福岡県古賀市議会議員 奴間 健司

# 第54号議案 令和6年度古賀市一般会計 決算の認定に対する私の賛成討論全文



第54号議案令和6年度古賀市一般会計決算の認定について、賛成の立場で討論します。この議案に対し大綱質疑を行いました。決算審査特別委員会は1款から8款を除き詳細質疑を行いました。欠席した時の質疑内容は委員会録や録音で確認しました。

その結果、以下の理由で決算認定に賛成します。

第1は、財政状況の評価です。実質収支が黒字であること、経常収支比率が前年度比2.7ポイント低下したこと、市債残高が前年度比2億4669万円減少したことなど各種財政指標から健全財政が確保されていることを確認できました。

財政状況の全体的評価として、「厳しさは増しているものの、大きな事業に着手できる余力はある」との見解を確認しました。開発にとどまらず教育、子育て、福祉など今後のまちづくりにとって必要な事業の財政面での裏付けを確保していることでもあり、素晴らしい結果です。執行部の行財政運営を評価し、この決算認定に賛成します。

第2は、主要な歳出に対する評価です。増

んを積んで改善してまいります。さて、決算認定に対する反対討論がありました。多くの市民にとって住民福祉の向上、生活環境の改善につながった決算を認めないということとは2024年度の職員の方々の努力を否定することになります。それで良いのでしょうか。

地方自治法や総合計画、条例、規則等に反する不適正性、違法な処理があれば別ですが、それを明確に示す討論ではなかったと思います。

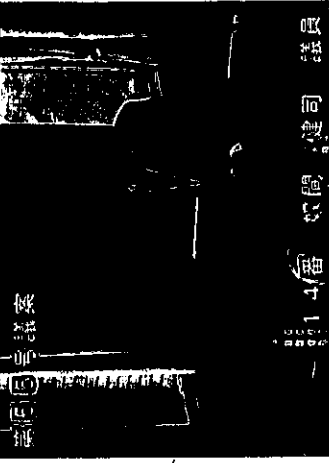
住民の納得に耐えられるのか疑問が残った、課題の解決が不十分であるという意見のようです。住民の方々の納得を得ること、また課題解決することが大事であることは言うまでもありません。しかし、特別委員会で、疑問を徹底的に説明しようとした質疑があった、不十分であるというのには不認定の理由にはならないと考えます。

反対討論には賛成討論以上に大きなエネルギーを使うと思います。議会の議論には必要なことですので。お互い切磋琢磨していきまよう。

以上を述べ、第54号議案に対する賛成討論とします。

# 第55号議案 令和6年度 古賀市国民健康保険特別会計 決算の認定に対する 私の賛成討論全文

第55号議案、令和6年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定について、賛成の立場で討論します。



委員会で詳細質疑を行いました。

決算認定に賛成する第1の理由は、被保険者の命と健康を守るうえで必要不可欠な決算となっていることです。財政状況は、実質収支額92448万2千円、基金残高は4億270万3千円となっています。被保険者数は9723人、対前年度比マイナス4.7%、国民健康保険税もマイナス0.1%、一人当たり医療費は45万3707円で0.3%増と厳しい現状があります。

保険給付費として療養諸費約33億8200万円、高額療養費約5億2400万円、出産育児諸費約1200万円等が給付されています。

受診率アップの課題はありますが、特定健康診断等が実施され、生活習慣病予防に一定の役割を果たしています。

被保険者の命と健康を守るうえで必要不可欠な決算となっていることから、令和6年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定について賛成します。

第2の理由は、データヘルズ計画に基づき健康課題を把握して取り組まれていることです。令和6年度(2024)には、第3期古賀市国民健康保険健康事業実施計画(データヘルズ計画)を改定しました。令和11(2029)年度を目標に市民国保課、健康介護課等が連携し、保健事業並びに特定健康診事業を計画的に実施しようとしています。

その中で、古賀市の健康課題として高血圧

や糖尿病に着目し、ヘルスステーションや各種イベント、保健指導を通じて改善を試みます。

また市長を本部長とする保健医療 2035 推進本部も開催され、市をあげた取り組みを追求しています。

健康課題を改善し、医療費適正化の結果を出すことは容易ではありません。しかし、2024 年度には保健師、管理栄養士等の専門職もその役割を發揮して努力を継続されました。データヘルス計画に基づくこれらの取り組みを高く評価し、決算認定に賛成します。

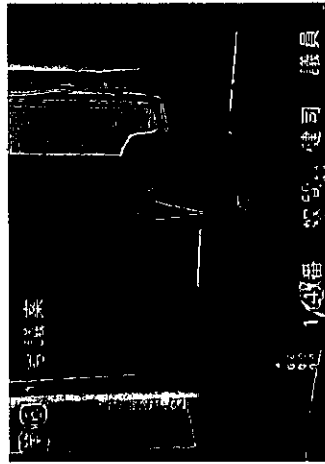
質疑で取り上げた血圧計の保有率実態調査と保有率アップの取り組み、保健・健康づくり事業の実績報告書の作成と公表等については今後の所管事務調査や一般質問等で継続して質疑・質問・提言していくべき課題と考えます。

なお、この決算認定に反対討論もありました。「国保料の負担が重い」という意見ですが、念のために申しますが古賀市では国保税という名称を使っておらず、国保料ではありません。こうした議論は、国保料改定の時点で議論すべきことです。議会で議決された国保税をもとにした国保会計の決算に対する意見が求められていることを指摘しておきます。

市民の納得に耐えられぬと判断したことから反対との意見もありました。もちろん市民、被保険者の納得をことは大事な課題です。しかし、特別委員会での点に関連して根拠を示して徹底した質疑が行われた形跡はありません。そもそも、納得に耐えられないということとは不認定の理由にはならないと考えます。

以上を述べ、第 5 号議案に対する賛成討論とします。

## 第 6 1 号議案 財産の取得に 対する私の賛成討論全文



第 6 1 号議案 財産の取得について、賛成の立場で討論します。

これは G I G A 構想に基づき、小中学生に一人 1 台貸与しているパソコンの更新にあたり新たに購入しようというものです。

詳細質疑を通じて分かったことは以下のとおりです。

予備も含め 6, 3, 4, 4 台を約 3 億 3, 040 万円で株式会社内田洋行九州支店から購入しようというものです。広域メリットがあることから福岡県の共同調達に参加したため契約方法は特命随意契約となっています。納入時期は当初の予定よりも早く、10 月には納品の見込みであることを確認できました。福岡県公立学校情報機器整備事業補助金として 3 分の 2 の補助が出ることも確認しました。

このパソコン購入に向けて、G I G A スクール構想加速化基金管理運営要綱の定めに基づき、公立学校情報機器整備事業に係る各種計画が策定・公表されていることを確認しました。

そこにはネットワーク整備計画や G I G A スクール構想第 1 期の成果と課題がきちんと記載さ

れています。

今後のデジタル教科書の導入に向け通信回線速度を文部科学省推奨の基準を満たすよう検討を進めていることがわかりました。

また、これまでのアプリだけに頼らず、汎用ツールを積極的に活用すること、児童生徒の主体性を重視した取り組みへアシフトすることもわかりました。

質疑を通じて分かったことは以上です。

今回のパソコン購入はハード面の整備だけではなく、ソフト面も含めて積極的に改善しようとする教育委員会の方針を確認することができました。素晴らしいことだと思います。G I G A スクール構想第 2 期がより成果を上げることを期待します。

以上を述べ、第 6 1 号議案に対する賛成討論とします。

討論は「議会の審」 「1 議案について討論を 3 回まで」とすべきではないか

討論の目的  
「議会運営の実際」より  
①議案に対する賛成又は反対の意見を述べ、自分と反対陣営にあるものや表決態度未定者を自分の意見に同調させること。理路整然とし「なるほど」と思わせる内容であるべき。  
②議員が自己の政治的立場を明確にすること。

「討論 1 回の原則」  
会議規則等で規定はないが、討論は 1 議案 1 回となっている。古賀市議会は通告制としているが、公平で自由な議論を行えるよう改善が必要と考える。

1 議案に討論 3 回までとした取手市議会  
議会基本条例第 11 条  
(討議等の原則)  
第 11 条 議会は、議事機関として、その意思決定に当たり、議員間の公平で自由な議論を尽くすため、本会議においての議員の討論については、賛否を明確にし、一議題につき 3 回まで行うことができることとする。

1 議論を尽くし、論点を明確にするために  
1 議案に討論 3 回までとすべきではないか

## 古賀市議会第 3 回定例会

最終日の本会議の討論の実績  
今回の討論結果を踏まえ  
古賀市議会における討論の  
在り方を改革したい

9 月定例会の討論、採決の結果  
一般会計決算認定では 5 名が討論  
(9 月 30 日の本会議)

議案番号	議案名	討論者	討論時間	採決
第 61 号	財産取得・タブレット	秋吉、森、大隈、福岡	0 18	可決
第 54 号	令和 6 年度一般会計決算認定	今井	1 17	賛成
第 55 号	令和 6 年度国保特別会計決算認定	今井	1 17	賛成
第 56 号	令和 6 年度水道事業会計剰余金処分・決算認定	今井	1 17	可決
第 59 号	令和 6 年度下水道事業会計剰余金処分・決算認定	今井	1 17	可決
7 年請願 1	少人数学級推進・教務改善	森	0 18	採択
第 62 号	議員報酬による議員書	大隈、大隈	0 18	可決

# 2024年度・令和6年度 古賀市一般会計決算の特徴

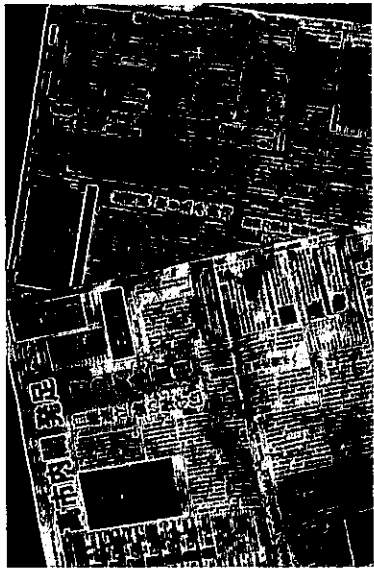
実質収支は19億2536万7千円の黒字

市債残高156億4千万円余、基金残高87億8581万円余

<p>2024年度・令和6年度 決算の特徴と事案の視点</p> <p>2025年9月4日に大相賀様、9月18日から決算審査特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一般会計、特別会計決算額は歳入が403億1357万6千円、歳出が380億5896万3千円、実収支は21億799万8千円の黒字</li> <li>●一般会計決算では、歳入は290億5530万4千円(前年度比△2億9977万6千円)、歳出は269億8312万2千円(前年度比△10億8399万6千円)</li> <li>●実収支は19億2536万7千円の黒字</li> <li>●歳入増：地方交付税約4億5千万円、繰入金2億8100万円、地方特例交付金2億7千万円</li> <li>●市債：市債9億8千万円、繰越金3億6200万円、寄附金3億2700万円</li> <li>●経常収支比率90.7%(前年度93.4%) 2.7ポイント低下、地方交付税等の増による経常一般財源の増加が要因</li> <li>●財政力指数0.666(前年度0.666) 前年度と同ポイント</li> <li>●市債残高156億4008万1千円(前年度比2億4669万円減少)</li> <li>●基金残高87億8581万5千円(前年度比1億7785万円減少)</li> <li>●増額した主要事業 ①3款：社会福祉費や児童福祉費等の増により、前年度比784,002千円、7.3%増加②8款：浜山1号線道路改良工事費等の増により、前年度比136,319千円、7.2%増加③9款：防災情報システム更新工事費等の増により、前年度比64,936千円、8.5%増加④10款：学校給食センター食品洗浄機等改修工事費等の増により、前年度比358,022千円、10.5%増加⑤12款：長期貸付利償還金等の増により、前年度比58,826千円、3.9%増加</li> <li>●減額した事業 18歳までの子ども医療費無償化</li> </ul> <p>●第5次総合計画の3年目の決算であること、進捗よく、事務事業評価はできているか。</p> <p>●田辺市長の2期目の施政方針に基づき決算であること、課題は何か。</p> <p>●18歳までの子ども医療費無償化の成果と課題の検証。</p> <p>●まち・ひと・しごと創生総合戦略、こども計画等の策定効果の検証。</p> <p>●議員の労働生産性の評価・検証、市長のマネジメントの検証。</p> <p>●少子化に備えめがけがなかった結果、チルドレンファーストの検証</p>	<p>決算の大きな特徴</p> <p>事案の視点</p>
--	------------------------------

(条件の禁止)  
第69条 表決には、条件を付けることができない。(会議規則)

<p>「表決には、条件を付けることができない」を確認・共有！</p> <p>たとえば、「この事業に賛成する。ただし、来年度に市が見直すことを条件とする」といったように、特定の条件を付けて賛否を表明することを「条件付き表決」という。このような条件は、議会としての正式な意思(=議決)を不明確にしてしまうため、無効とされる。</p> <p>①条件を付すと、実際に条件が満たされればか否かで効力が変わり、意思が曖昧になる。</p> <p>②条例の制定・予算の可否・契約の承認など、議会の議決には法的効果が伴う。条件付きだと、行政が執行できるかどうか判断できなくなる。</p> <p>③条件を付けて行政に義務を課するような議決は、執行機関の権限を侵すおそれがある。</p> <p>会議規則に違反することになる。地方自治法第176条第4項には、議会の議決が会議規則に違反すると認められる場合、普通地方公共団体の長は理由を示してこれを再議に付すことができると規定されている。</p> <p>「附帯決議」や「意見書」として別に採択する、委員会審査の報告書や質疑答弁で意見を残す、といった補足的な意思表明の手法を用いることが望ましい。</p> <p>賛否を明確にし、賛同者を得ること。意見を戦わせることであり、合意形成を目指す議員間討議とは異なる。</p> <p>古賀市議会の現行ルールでは討論は1回までとなっている。しかし、取手市議会のように議会基本条例に1議案について3回まで討論ができると定めている先進事例もある。</p> <p>&lt;コメント&gt;9月定例会では上記の考えに沿って新たな討論にチャレンジしました</p>	<p>条件付き表決とは</p> <p>条件付きだが認められない理由</p> <p>もし、表決に条件を付けたらどうなるか</p> <p>条件を付けたい場合の望ましい方法</p> <p>討論とは</p> <p>討論の回数</p>
---	--



国政の動向

10月21日、高市政権が発足

公明党が連立離脱

自民党・維新の会の連立政権



# 薬王寺・快生館 インキュベーション

温泉施設売却・SALTによる事業継続という方向性が公表されたが市長は5年間で4億円を超す投資の効果と今後の展望を説明すべき

## 古賀市議会・総務委員会の所管事務調査概要 (2025年10月24日)

### 快生館 SALTの収支状況 (2021年度～2024年度)

※古賀市とSALTの契約期間は2025年度までの5年間

	1年目実績 2021年度	2年目実績 2022年度	3年目実績 2023年度	4年目実績 2024年度
コワーキング (月単位)	12,474	422,400	1,641,998	2,627,547
スモールオフィス (月単位)	476,974	5,270,347	6,865,997	6,095,935
コワーキングドロップイン	41,800	228,800	217,250	164,450
貸室利用	154,275	577,775	1,199,550	1,550,450
売上		1,527,900	2,675,600	3,133,090
雑入		67,320	64,790	70,790
その他 (イベント等)	154,425	679,172	1,173,144	599,170
売上計	839,948	8,773,714	13,939,329	14,241,372
経費				
人件費	8,611,000	15,904,000	17,952,000	17,952,000
清掃費	576,000	1,435,000	1,699,000	1,582,000
重機代		1,326,000	1,442,000	1,044,000
ボイラー保守	59,000	247,000	366,000	307,000
水光熱費	625,000	2,540,000	2,413,000	2,889,000
通信費・セキュリティ費	884,000	3,348,000	3,269,000	3,873,000
備品費	1,012,000	1,465,000	625,000	512,000
運営管理費	1,476,000	2,834,000	2,116,000	1,884,000
企画費	1,165,000	2,591,000	2,585,000	1,283,000
WEBサイト運用・管理費	660,000	660,000	660,000	660,000
開業経費※2021年のみ	12,489,000			
計	27,551,000	32,770,000	33,127,000	31,986,000
運営に係る収支 (①+②-③)	178,948	1,523,714	4,427,329	4,838,372

### 快生館に関連する委託費

2022年度	2023年度	2024年度	
快生館を軸としたコミュニティ形成及び持続的なまちづくりのための共同事業体 (株)あわえ、(株)SALT、(株)ロコガイド、コミュニティ婚活(株)古賀市ワークスイッチ共同事業体 (パーソルワークスイッチ)コンサルティング(株)、(株)SALT	活性化支援委託	活性化支援委託	3000万円
担い手創出事業共同事業体 ((株)あわえ、(株)SALT、ホリデー(株)、(株)Asian Bridge)	活性化支援委託	活性化支援委託	3000万円

### 薬王寺・快生館の収支報告 (総務委員会提出資料)

2024年度の経費3198万6千円に対し

売り上げは1424万円 不足分は市の委託料2258万円

### 古賀市議会・総務委員会・所管事務調査概要

(2025年10月24日)

2025年8月古賀市における豪雨災害の

罹災証明・被災証明の発行状況

(2025年10月14日現在)

区分	単位	被害数	備考
罹災証明 (住家)	全壊	棟	
	半壊	棟	2
	準半壊	棟	1
	床上浸水	棟	10
	床下浸水	棟	15
	一部損壊	棟	2
計		30	
被災証明 (住家)	事業者	件	7 店舗、工場
	その他	件	38
	計		45

## 8月の豪雨災害

罹災証明発行は30件 被災証明は45件

罹災証明に関する情報提供の改善

災害対応の体制強化は急務

<コメント>①罹災証明は39件申請があり30件発行。9件は準等の被害で被災証明発行となった。②写真がないケースもあったが現地に行き浸水痕調査でカバーした。③罹災証明に関する理解が不十分で情報発信がさらに求められている。④災害対応の体制強化は急務である。

## 花見小付近冠水の抜本対策

5000tの雨水を地下に貯める構想

(ピークカット)

具体化に向けて検討されていることがわかりました

床上浸水、室外機や自動車の浸水被害を

繰り返さないためにぜひ実現させましょう

※福岡市の山王公園の地下に設置されている雨水調整池と同じ発想。

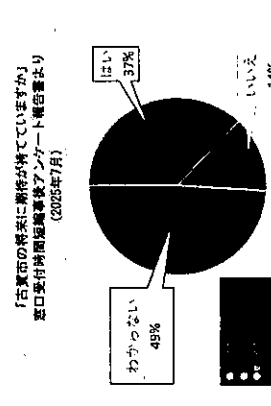
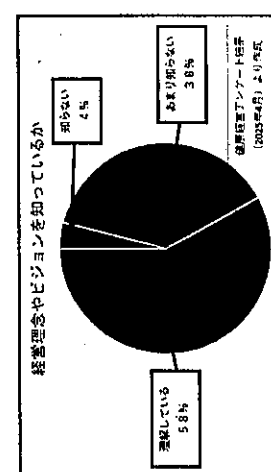
来年度予算編成に向けた市長メッセージ 5つの疑問  
 2024年度の評価・点検結果を8月に公表すべき  
 CAPDサイクルの実施が古賀市でも求められている

令和8年度当初予算編成のスタートにあたって  
 (市長メッセージ・2025年10月1日公表)  
 その特徴と疑問点を一緒に考えませんか

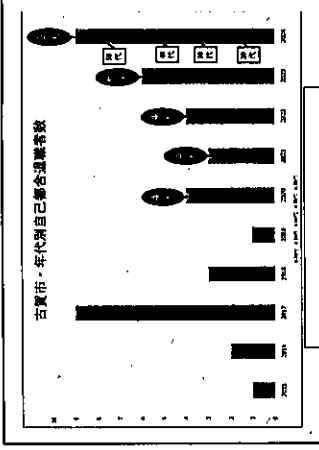
特徴	<p>①田辺一城市長は、令和8(2026)年度の当初予算編成を始めるにあたり、市長としての基本方針を転換し、市民職員、市議会議員、市民に公表した。市長の公約である「予算編成の見える化」を実現するための重要な手法と位置付け、市長就任から始めた。</p> <p>②公表の時期は毎年原則10月1日としており、そのあと予算編成作業が本格化する。市長メッセージは、併せて総務部長の名で予算編成方針並びに中期財政見通しを公表される。市長は職員に対し、この基本方針を念頭に置き、当初予算に盛り込む施策(事業)を検討することをお呼びかけしている。</p> <p>③メッセージは8月後半から市長自身が執筆している。短期間に書き上げているが全文は約7500字と長文である。古賀市ホームページに掲載されています。</p>
疑問点①	<p>決定審査での質疑、指摘事項を反映したメッセージに公表するのか?</p> <p>なぜ、9月定例会開会直後に公表するのか?</p>
疑問点②	<p>前年度の評価・点検結果を踏まえ、次年度の方針を示すなら決定審査の判断材料としてメッセージを提示するのが適切と考える。</p>
疑問点③	<p>決定資料が提出されているが、それらは行政評価の結果と一言いえない内容である。評価・点検結果を公表せずには基本方針が立てられないのか。</p>
疑問点④	<p>各事業をどうしたいのかについて、実績が17件、検討が10件、着手が7件、推進が8件、めざすが6件、推進が5件などと記述している。職員に検討を呼びかけながら実績と断言するのほどでしょうか。さらに、なぜ縮小や廃止がないのか。</p>
疑問点⑤	<p>記載した各事業の結末の言葉が「実施」などまちまちなのか?</p>

<私のコメント>の「前年度の評価・点検結果を8月頃に公表し、次年度の方針を9月決算委員会に合う時期に提示するのが望ましい。いわゆるCAPDサイクルの実行が古賀市でも必要で、C(チェック)とA(アクション)を決定審査のテーマにすることを一時期の間で言っている。重点事業や本プロジェクトの作成も提案している。市民自身が短期間で執筆するため、文章としての精度が不足していると言わざるを得ない。しかも長文であるため、届けたい職員、市民に読まれているか考えてほしい。

古賀市役所職員アンケート結果をどう受け止めるべきか  
 ビジョンを「知らない」、「あまり知らない」42% 将来に期待が持てられない49%



新城市「Z世代課」調査研修



愛知県新城市は全員20代の職員で「Z世代課」を立ち上げた  
 背景には若手職員の離職増加 古賀市も同じ課題を抱えている

視察結果報告(政務活動費活用) (2025年11月12日)

愛知県新城市のZ世代課の取り組みに学ぶ

説明して頂いた方	<p>①新城市企画総務課長 杉下 成利 課長                  ②Z世代課の副課長 伊藤 謙 課長 (市民協働都市長自治推進課長)</p>
調査項目	<p>①Z世代課の概要                  ②Z世代課の業務内容                  ③Z世代課の課題                  ④Z世代課の今後の展望</p>
①Z世代課の概要	<p>組織文化変革プロジェクト「プロジェクトZ」チーム名: Z世代課                  Z世代を中心とする若手職員の積極的な活躍に注力し、時代に対応した組織文化を醸成し、職員間のウェルビーイングの向上に寄与すること                  2025年6月1日~2028年9月31日 来年度2月に市長報告を予定。                  応募した全員20代の職員9名。(男性5名、女性2名)                  リーダーを「伊藤」と呼ぶ。新城市が10年間で取り組んでいる「若手職員の経験者が市職員となり、今回の「課長」となった。(長い経験とあってのこと)</p>
②Z世代課の業務内容	<p>Z世代の業務が従来と異なっていること                  ①Z世代の業務が従来と異なっていること                  ②Z世代の業務が従来と異なっていること                  ③Z世代の業務が従来と異なっていること                  ④Z世代の業務が従来と異なっていること</p>
③Z世代課の課題	<p>①Z世代の業務が従来と異なっていること                  ②Z世代の業務が従来と異なっていること                  ③Z世代の業務が従来と異なっていること                  ④Z世代の業務が従来と異なっていること</p>
④Z世代課の今後の展望	<p>①Z世代の業務が従来と異なっていること                  ②Z世代の業務が従来と異なっていること                  ③Z世代の業務が従来と異なっていること                  ④Z世代の業務が従来と異なっていること</p>
⑤Z世代課の感想	<p>古賀市も若手職員の離職増加傾向で2024年度は9人。その内20代、30代が4人。プレイングフィールド(業務の底力)で約3億円のコスト増が生じているという試算もある。新城市で若手職員の声を聞き、組織文化の改善並びにワークエンゲージメント向上に向けた改善を求めた方が良いと実感する。この課題は急務と言える。</p>

政務活動費を活用し視察しました

愛知県新城市の若者議会とZ世代課

2025年11月12日

若者の人材育成・活用に向けて

古賀市に活かせるものがたくさんありました

新城市「若者議会」視察研修

視察結果報告(政務活動費活用) (2025年11月12日)

愛知県新城市の若者議会に学ぶ

採用して頂いた方	①市民協働部市民自治推進課の外部実二課長 ②総合政策課副課長 ③加賀川建設課主事 ④加藤宗々主事
調査項目	概要 ・2012年 海外のニューキャッスル市と交流。ヨーロッパでは当たり前の若者議会。帰国後の若者がボランティア団体立ち上げ ・新市長が「若者が活躍するまち」をマニフェストに掲げる ・「市政が変わっても若者様方が輝いてほしい」 2014年 新城市若者委員会、新城市若者議会条例を制定 ・2015年 第1期若者議会発足。現在第11期。 ・予算提案権を持ち、若者自身が自分のまちのことを考え、政策立案する市長の役割 ・委員(定員20人、市外委員(定員6人、モニター市民、モニター職員、季節別)市民自治推進課、職員3人)。任期1年(再任可)報酬3,000円/日 ・市内在住、在学、在勤の17歳以上のおおむね16歳から23歳まで 2月~8月モニター募集→4月報酬金→6月所信表明→6月~7月検討期間→8月中間報告→8月~10月検討期間→11月市長答申→12月~2月検討期間→2月議会と意見交換→8月市長報告→4月以降事業実施(答申事項は翌年度に市の各担当課が実施) ・約5か月かけて市長答申。答申後も具体化に向けた検討 ・委員は約30回の会議等に出席 ・第11期の場合:市内委員定数は20人、市外委員は6人 ・第11期の構成:高校生委員17人、大学生等7人(市内外4人)一般1人(市外委員)
①位置づけ	・若者議会経験者から市議員2人、職員6人
②1年の流れ	・第11期の場合 委員:28回、平均支給額83,600円、市外委員:19回、平均支給額55,800円、モニター:24回、平均支給額78,125円 ・報酬、交通費等の事業費は450万円/年。 ・第11年度~2024年度に50事業、予算総額約6千万円 ・ふるさと情報館リノベ事業(図書館2階の郷土資料室を学生が施設として、気軽に集まり話せる多目的空間)リノベ。予算額:416万9千円 ・若者議会経験者から市議員2人、市職員に6人。 古賀市は高校生モニター事業を行っているが、新城市の若者議会を参考に見直した方が良い。若者の自主性や主体性を重視すること、委員に報酬を取り組んでいくこと、検討から提案まで時間をかけていくこと、若者に報酬を支給していくこと、予算提案権があり提案が優先化されていること、若者者に委託せず職員や市民がサポートしていることなどは大いに学び、古賀市の取り組みに反映すべきと感じた。
③広域対応委員構成	
④報酬制度	
⑤若者議会予算	
⑥人の成長	
感想	

愛知県新城市は「若者議会」を通じて若者が活躍するまちを推進している

10年の蓄積 若者議会経験者から市議員2人、職員6人

古賀市議会

文教厚生委員会の視察

川崎市と大和市の先進事例を学び

古賀市の取り組みに活かします

日程	10月28日(火)~29日(水)
視察先	(1)川崎市(10月28日・午後) ①より幅広い子どもの声をしっかりと取り止めるしくみづくり~多様な子どもの声を市政に活かす ②川崎市子どもの権利に関する条例 (2)大和市(10月29日・午前) 「認知症1万人時代に備えるまちやまと」宣言および認知症1万人時代条例 委員長:古賀誠規 副委員長:今井公一 森真希、大野慶太郎、坂田隆哉
委員	

文教厚生委員会視察

(10月28日、29日)

神奈川県川崎市の子ども会議(表下)

大和市の認知症支援施策(写真上)

文教厚生委員会・所管課視察報告(2025年10月31日)  
子どもたちの意見表明・参加権をどう保証するか

比較	古賀市「高校生リバーズメンター」 川崎市の「子ども会議」
組織形態	無し 「子どもの権利条例」第30条「市長は、市政について、子どもの意見を求めるため、子ども会議を開催する」
位置づけ	高校生が市長の相談役となって政策提案。意欲能力向上、政治発言意欲、高校生視点による政策提言
担当課	経営戦略課 実施は「区下村連」に委託
予算	302万9千円(委託費:内訳は委託者への人件費、旅費、アールイブ費、お祝い金等)※2025年度当初予算は227万9千円
参加者	小学生13人、中学生12人、高校生14人の計39人(2025年度)※事業は毎年行っている
期間	<8か月程度の活動> 2025年度の場合、6月28日に登壇式、7月にワークショップ9回、8月にオンライン版、9月27日に報告式に意見表明
取組の背景	①青少年育成課は子ども協議会(11人)や市民の地域リーダー育成プログラム(7人)を「子どもの主体性を伸ばし、自分で考え、生きる力を伸ばす」ために取り組んでいる。その効果検証が必要だ。今年度の協議会(川崎市の子ども会議)を紹介したが古賀市でも同様の取り組みに着手することを期待したい。 ②高校生リバーズメンターは認知症支援だけでなく認知症から児童まで幅広い。予算も川崎市の予算を参考に改めた方が効果的になる。 ③11月12日に開催する愛知県新城市の若者議会も紹介していきたい。

川崎市 子どもの権利条例に基づく「子ども会議」

子どもの自主的・自発的取り組みを徹底して重視

高校生リバーズメンターと比較すると特徴が浮き彫り



議会運営委員会の委員長として視察受入

10月7日：大阪府吹田市議会

10月9日：岐阜県大垣市議会

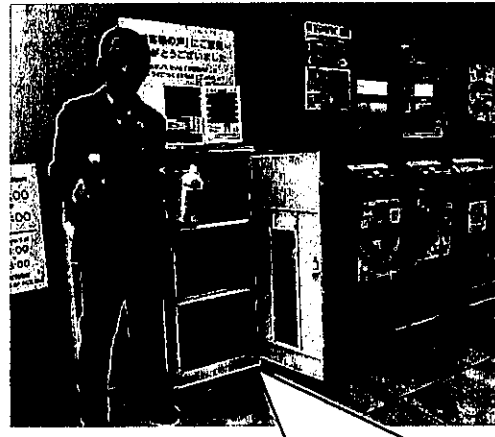


古賀神社境内

阿武松部屋のちゃんこ会に参加



はなみ公園健康フェスタで in Body  
測定。動いて、食べて、測って健康！



サニー古賀店の廃食用油回収BOX  
サンリブに続き設置されました  
使い終わったてんぷら油を  
もってきてください



9月9日、神奈川県海老名市に住んでいた母・幸子が97歳で永眠しました。9月定例会の一般質問を取下げ、決算審査特別委員会を2日間欠席しました。私を生み、育ててくれた母への感謝の気持ちを胸に歩み続けます。

「ぬま健司の提言詳報（第33号）」 発行日：2025年12月5日 発行者：奴間健司

●事務所 〒811-3113 福岡県古賀市千鳥 2-3-7 安部ビル 103 ☎092-944-2639

●自宅 〒811-3112 福岡県古賀市花見東 5-4-10 ☎092-943-4427



支出内訳書の番号 6	
「報告と対話のつどい」報告書	
1 名称	「報告と対話のつどい」
2 目的	定例議会の結果や私の議員活動の報告をするとともに、市民の皆さんの率直な意見を聴取すること。特に「対話」の時間を確保し、寄せられた意見、対話を通じて気付いたことを今後の議員活動の活かすため。
3 実施時期	2025年12月20日 15時～16時30分
4 実施場所	千鳥南区公民館
5 参加者	奴間健司
6 内容	<p>①私の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の中での私の役割と基本姿勢</li> <li>・12月11日に閉会した定例会の報告（補正予算の概要など）</li> <li>・12月25日に開催予定の臨時会に提出される議案の概要説明</li> <li>・12月定例会での一般質問の結果の詳しい報告（「走りながら考える」の評価など）</li> <li>・私の議員マニフェストの検証（2023年4月の市議選で掲げたマニフェストの進捗と残された任期中の課題、目標など）</li> </ul> <p>②質疑応答、意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活発な質疑が行われた。</li> <li>・特に、お米券にかわる物価高騰生活支援策について激しい意見が集中した。19歳から64歳までが空白であることの問題を指摘する声が強かった。</li> <li>・議案審査前に市民の声を聴くことの大切さを痛感した</li> </ul>

## 領収書

9



奴間 健司様

取引年月日：2026年01月17日(土)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-260112948338

**合計金額 (税込) 41,863円**

ラクスル株式会社

10%対象 41,863円 (内消費税: 3,805円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
260112948338-01	チラシ・フライヤー / A3 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg / 折り加工：2つ折り(センター折り)	7,000部	38,058円	出荷予定日: 2026年1月18日 260112奴間健司ニュースター 確定原稿

[\*]は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 38,058円
小計 (税抜)	38,058円
合計金額 (税込)	41,863円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。



古賀市議会議員

2026年1月発行

# ぬま健司 ニュースレター



## 19歳～64歳に支給しないのはおかしい！ 修正案で反対したものの…

昨年12月25日の臨時議会で物価高騰対策生活支援の  
補正予算を審査しました

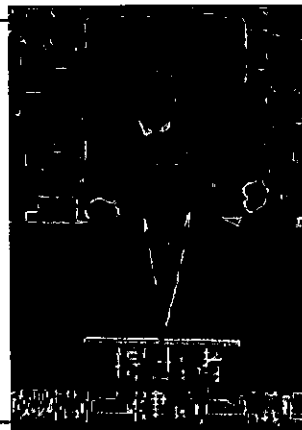
### 田辺市長の提案



- 「お米券」は配布しない
- 65歳以上の高齢者に5千円分のギフトカードを配布
- 0歳～18歳までの子どもに5千円分の図書カードを配布
- 全世代対象に「こがPay」発行

### 私の修正案

- 私は森本議員と修正案を提出しました
  - 19歳から64歳までが漏れているのはおかしい
  - 「こがPay」でカバーという説明は納得できない
  - 全市民対象の生活支援策の再提出を求めました
- 手つかずの国の交付金は約3億円あります



### 結果

- 私たちの修正案に賛成した議員は6名、反対は12名でした
- 残念ながら市長提案を修正させることはできませんでした

宗像市や福津市では全市民に現金5千円を支給します

今回の提案をどう思いますか？ ご意見をお寄せください。

発行者：ぬま健司事務所 〒811-3113 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103  
TEL・FAX 092-944-2639 / ✉ ny2knm@gmail.com



Facebook、Instagram、X(Twitter)、ホームページで暮らしに役立つホットな情報を発信中です！

# 市長が言う「走りながら考える」

置き去りになってしまっているものが...

一般質問(2025年12月9日)の報告 ※古賀市のホームページで録画を視聴できます



ぬま健司

## 公約の進捗は？

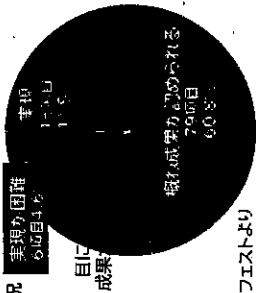
「公約をほぼ達成」と言うなら具体的に公表してほしい

田辺市長は「掲げた公約はほぼ達成した」と言っています。

具体的に何を達成し、市民にとつてどのような成果になったかの説明が大事です。

右のグラフは熊本市の大西市長がマニフェストの中間点検結果を公表したものです。

これを参考に公約の進捗状況を公表するよう田辺市長に求めています。



熊本市大西市長のマニフェストより

田辺一朗市長

## 52事業中51が実行段階、1が未実施

マニフェストの達成状況を具体的に公表

自己満足

進捗がつかない

70項目

60%

ぬま健司

## 組織風土改革は置き去りでは？ 市長認識と現状にギャップがあるのでは

職員の声を受けとめてほしい

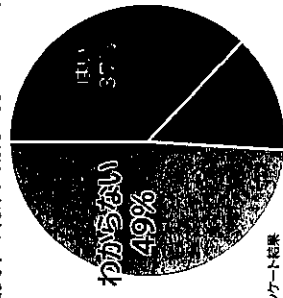
右は窓口受付時間短縮後の職員アンケート結果の一部。市の将来に期待が持っていると回答した職員は37%。自由記述では市長の経営姿勢への厳しい意見もあつたようです。

田辺市政2期目になって離職者数が急増という現状もあります。特に若手の離職が気になります。

市長は職員の率直な声を受けとめ、

組織風土改革を強力に進めるべきです。

古賀市の将来に期待が持っていますか



窓口受付時間短縮事後アンケート結果 職員298人、回答率82%、2025年5-6月実施

田辺一朗市長

## 改革は進んでいる 職員の状況は真面目に受け止めて

## 愛知県新城市を視察「若者議会」「Z世代課」を学ぶ

私の活動報告

全国の先進事例を古賀市に活かす

昨年11月12日、愛知県新城市を訪れ、10年の歴史がある「若者議会」と昨年6月に始まった「Z世代課」を学んできました。二つとも若者の自主性や主体性を活かした取り組みです。視察成果を12月の一般質問で紹介しました。詳細はFacebookで。

新城市「若者議会」の特徴

- 予算提案権を持ち、若者が自分のまちのことを考え政策立案する市長の付属機関(条例に基づく組織)
- 若者議会設置後の10年間で若者議会の提案を実現した事業の総額は約6千万円
- 定員は20人、市民や職員がメンター。報酬、交通費が支給されその総額は年間約450万円
- 年間通じて活動し、年度末に議会ととの意見交換を行い、活動成果を市長に報告

## 「かかりつけ医」を持ちましょう

私の活動報告

地域医療と市民を結び、命と健康を守る

昨年12月25日、「地域医療と市民を結ぶ会」が「かかりつけ医」を考えるフォーラムを開催。青柳にある堤医院の堤啓院長と古賀市健康介護課の保健師に講演して頂きました。私は会の事務局長として15年にわたって活動しています。詳細はFacebookで。

「かかりつけ医」を持つことのメリット

- 日常的に診療、相談ができ、病気の早期発見・重症化予防につなげることができず
- 精密検査、入院、手術が必要になっても紹介状をもらい他の病院で治療を受けることができます
- 通院できなくなっても訪問診療や在宅見取りをしてもらえることもあります

## 2026年 注目課題

2月上・中旬に衆院選挙？市政への影響を注視します

## 厳しさを増す世の中 先見性求められるまちづくり 3月議会 田辺市長の施政方針・予算案をしっかりと審査します

気になる課題	ぬま健司の考え
財政見直し	◆ 国の借金1145兆円。市の財政運営を子エックし、持続可能なまちづくりをめざします。
少子化	◆ 出生数360人前後に激減。第2子以降保育料無償化、オムツ代等の支援を提言します。
医療費・薬代	◆ 負担増の国の政策。子ども血液検査、家庭血圧計普及など予防徹底を促進します。
給食費	◆ 小学校の「無償化」。賄材料費を子エックし給食の質の維持・向上を堅持させます。
平和	◆ 防衛費増大、不安定な世界。被爆体験談の拡大を促進し、平和推進条例制定を提言します。
豪雨災害	◆ 昨年8月豪雨災害の教訓。雨水を地下に貯めて浸水被害を防ぐ工事の実現を促進します。
快生館	◆ 施設売却・事業継続で自主可能か。4億円超投資の説明責任問い当初予算を厳しく審査します。
千鳥苑	◆ 「機能移転・施設廃止」の方針を決定迫る。民間活用で地域共生拠点として存続・活用を提言。
自治会	◆ 加入率低下。コミュニティ補助金の増進で担い手の維持・継続を図ります。

# ぬま健司の基本姿勢

## 8期・3年目も地道に頑張ります

### 市民に寄り添い、一緒に解決

- ♡子育て中のママ、パパの声をトコトン聴き市政に反映させます
- ♡看病、介護の悩みに応え、医療・介護・相談機関につなぎます
- ♡身近な困りごとの相談に乗ります

### こまめに報告、対話を重視

- ♡ SNSをフル活用して情報発信、ご意見聴取を実行します
- ♡「報告と対話のつどい」を対面、オンラインで開催します
- ♡ 事務所で定期的に「茶話会」をします

### しっかり調査、きちんと議論

- ♡「市民による議案検討会」を開催し議案審査に反映させます
- ♡全国各地の進んだ経験を学び古賀市に活かします

### 議会力アップ、市政点検

- ♡ 質疑、討論など議員の基本活動のレベルアップを促進します
- ♡ 田辺市長に言うべきことはビシッと伝えより良い市政をめざします

モットー

ふれあい・ぬくもり

目標

生涯現役

### プロフィール

- 1952年4月17日生まれ(石川県加賀市)
- 1972年 千葉大医学部入学、公害問題等に取り組む中で社会の病を治そうと中退
- 1983年 古賀町(当時)に転居、古賀に住んで43年
- 1995年 古賀町議に初当選  
1997年10月の市制施行で市議になる
- 2011年～2015年 市議会議長 インターネット中継、議会基本条例制定、福岡女学院看護大学パートナーシップ協定締結などを達成
- 2023年4月 市議8期目当選
- 議会の役割: 議会運営委員会委員長、文教厚生委員、政策推進会議役員、議会報告会幹事、タブレット活用検討会会長。会派・友和(森本議員、私)
- 地域医療と市民を結ぶ会事務局長、千鳥が池観察会ゲストティーチャー、卓球協会理事、古賀市第九合唱団実行委員、フレンズ花見会員、花見苑自主防犯パトロール
- 事務所は千鳥(福岡東医療センター前)、自宅は花見東2区

### 今後の市政日程

- 2026年(令和8年)
- 2月上・中旬 衆院選挙(?)
  - 3月定例会 当初予算案審査
  - 6月定例会
  - 9月定例会 決算審査
  - 11月末 市長選挙
  - 12月定例会
- 2027年(令和9年)
- 3月定例会 当初予算案審査
  - 4月末 市議会議員選挙



千鳥小児童と取り組んだ千鳥が池観察会(昨年6月)



サンリブに続き設置されたサニー古賀店の廃食油回収BOX(昨年8月)



第九公演会で合唱団員として出演酒井委員長と記念写真(昨年12月)

## 領収書

10



奴間 健司様

取引年月日：2026年02月04日(水)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-260130138658

**合計金額 (税込) 20,948円**

ラクスル株式会社

10%対象 20,948円 (内消費税: 1,904円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
260130138658-01	チラシ・フライヤー / A3 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg / 折り加工：2つ折り(センター折り)	3,000部	19,044円	出荷予定日: 2026年2月4日 260201奴間健司ニュースター 第2版

[\*]は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 19,044円
小計 (税抜)	19,044円
合計金額 (税込)	20,948円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。



古賀市議会議員

ぬま健司

2026年2月1日発行

第2版

ニュースレター



# 19歳～64歳に支給しないのはおかしい！ 修正案で反対したものの…

昨年12月25日の臨時議会で物価高騰対策生活支援の  
補正予算を審査しました

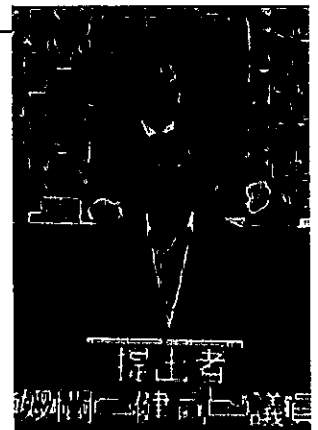
## 田辺市長の提案



- 「お米券」は配布しない
- 65歳以上の高齢者に5千円分のギフトカードを配布
- 0歳～18歳までの子どもに5千円分の図書カードを配布
- 全世代対象に「こがPay」発行

## 私たちの修正案

- 私は森本議員と修正案を提出しました
  - 19歳から64歳までが漏れているのはおかしい
  - 「こがPay」でカバーという説明は納得できない
  - 全市民対象の生活支援策の再提出を求めました
- 手つかずの国の交付金は約3億円あります



## 結果

市長は全市民対象の生活支援策を追加提案すべきです！

- 私たちの修正案に賛成した議員は6名、反対は12名でした
- 残念ながら市長提案を修正させることはできませんでした

宗像市や福津市では全市民に現金5千円を支給します

今回の提案をどう思いますか？ ご意見をお寄せください。

※ニュースレター第1刷発行以降、「おかしい」という声が多数寄せられました。

発行者：ぬま健司事務所 〒811-3113 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103  
TEL・FAX 092-944-2639 / ✉ ny2knm@gmail.com

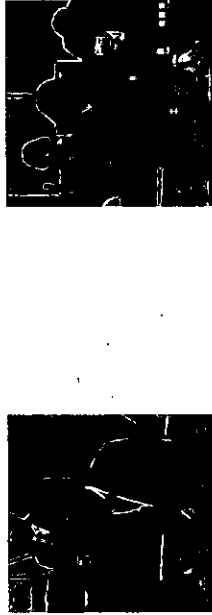


Facebook、Instagram、X(Twitter)、ホームページで暮らしに役立つホットな情報を発信中です！

# 市長が言う「走りながら考える」

置き去りになっているものが...

一般質問(2025年12月9日)の報告 ※古賀市のホームページで録画を視聴できます



## ぬま健司 公約の進捗は？

「公約をほぼ達成」と言うなら具体的に公表してほしい

田辺市長は「掲げた公約はほぼ達成した」と言っています。具体的に何を達成し、市民にとつてどのような成果になったかの説明が大事です。右のグラフは熊本市の大西市長がマニフェストの中間点検結果を公表したものです。これを参考に公約の進捗状況を公表するよう田辺市長に求めています。

田辺市長の進捗状況  
を具体的に公表

52事業中51%の実施率が着手し、未実施

田辺市長の進捗状況

実現が困難な項目も

目標達成率

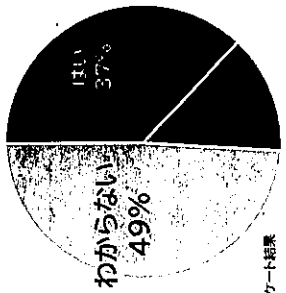
実現が困難な項目も

実現が困難な項目も

## ぬま健司 組織風土改革は置き去りでは？ 市長認識と現状にギャップがあるのでは

職員の数直な声を受けとめてほしい

右は窓口受付時間短縮後の職員アンケート結果の一部。市の将来に期待が持てると回答した職員は37%。自由記述では市長の経営姿勢への厳しい意見もあつたようです。田辺市政2期目になって離職者数が急増という現状もあります。特に若手の離職が気になります。市長は職員の率直な声を受けとめ、組織風土改革を強力に進めるべきです。



窓口受付時間短縮調査アンケート結果  
職員298人、回答率82%、2025年5-6月実施

## 愛知県新城市を視察「若者議会」「Z世代課」を学ぶ

全国の先進事例を古賀市に活かす  
昨年11月12日、愛知県新城市を訪れ、10年の歴史がある「若者議会」と昨年6月に始まった「Z世代課」を学ぶことができました。二つとも若者の自主性や主体性を活かした取り組みです。視察成果を12月の一般質問で紹介しました。詳細は、Facebookで。

- 新城市「若者議会」の特徴
- 予算提案権を持ち、若者が自分のまちのことを考え政策立案する市長の付属機関(条例)に基づく組織)
  - 若者議会設置後の10年間で若者議会の提案を実現した事業の総額は約6千万円
  - 定員は20人、市民や職員がメンター。報酬、交通費が支給されその総額は年間約450万円
  - 年間通じて活動し、年度末に議会との意見交換を行い、活動成果を市長に報告

## 「かかりつけ医」を持ちましょう

ぬま健司  
私の活動報告  
地域医療と市民を結び、命と健康を守る  
昨年12月25日、「地域医療と市民を結ぶ会」が「かかりつけ医」を考えるフォーラムを開催。青柳にある堤医院の堤啓院長と古賀市健康介護課の保健師に講演して頂きました。私は会の事務局長として15年にわたって活動しています。詳細は、Facebookで。

- 「かかりつけ医」を持つことのメリット
- 日常的に診療、相談ができ、病気の早期発見・重症化予防につなげることが出来ます
  - 精密検査、入院、手術が必要になっても紹介状をもらい他の病院で治療を受けることができます
  - 通院できなくなっても訪問診療や在宅見取りをしてもらえることもあります

## 2026年 注目課題

ぬま健司の考え  
衆院選、2月8日投開票 市政への影響を注視します  
3月議会 田辺市長の施政方針・予算案をしっかりと審査します

気になる課題	ぬま健司の考え
財政見直し	◆ 国の借金1145兆円。市の財政運営を子エックし、持続可能なまちづくりをめざします。
少子化	◆ 出生数360人前後に激減。第2子以降保育料無償化、オムツ代等の支援を提言します。
医療費・薬代	◆ 負担増の国の政策。子ども血液検査、家庭血圧計普及など予防徹底を促進します。
給食費	◆ 小学校の「無償化」。賄付料費を子エックし給食の質の維持・向上を堅持させます。
平和	◆ 防衛費増大、不安定な世界。被爆体験談の拡大を促進し、平和推進条例制定を提言します。
豪雨災害	◆ 昨年8月豪雨災害の教訓。雨水を地下に貯めて浸水被害を防ぐ工事の実現を促進します。
快生館	◆ 施設売却・事業継続で自走可能か。4億円超投資の説明責任問い当り予算を厳しく審査します。
千鳥苑	◆ 機能移転・施設廃止方針の見直し、民間活用で地域共生拠点として存続・活用を提言。
自治会	◆ 自治会加入率の低下。校区コミュニティ補助金の増額で担い手の維持・継続を図ります。

# ぬま健司の基本姿勢

## 8期目残り1年余も地道に頑張ります

### 市民に寄り添い、一緒に解決

- ♡子育て中のママ、パパの声をトコトン聴き市政に反映させます
- ♡看病、介護の悩みに応え、医療・介護・相談機関につなぎます
- ♡身近な困りごとの相談に乗ります

### こまめに報告、対話を重視

- ♡SNSをフル活用して情報発信、ご意見聴取を実行します
- ♡「報告と対話のつどい」を対面、オンラインで開催します
- ♡事務所で定期的に「茶話会」をします

### しっかり調査、きちんと議論

- ♡「市民による議案検討会」を開催し議案審査に反映させます
- ・2月21日(土) 午後2時～午後4時
- ・ぬま健司事務所で開催します！

### 議会力アップ、市政点検

- ♡質疑、討論など議員の基本活動のレベルアップを促進します
- ♡田辺市長に言うべきことはビシッと伝えより良い市政をめざします

モットー

ふれあい・ぬくもり

目標

生涯現役

### プロフィール

- 1952年4月17日生まれ(石川県加賀市)
- 1972年 千葉大医学部入学、公害問題等に取り組む中で社会の病を治そうと中退
- 1983年 古賀町(当時)に転居、古賀に住んで43年
- 1995年 古賀町議に初当選
- 1997年10月の市制施行で市議になる
- 2011年～2015年 市議会議長 インターネット中継、議会基本条例制定、福岡女学院看護大学パートナーシップ協定締結などを達成
- 2023年4月 市議8期目当選
- 議会の役割:議会運営委員会委員長、文教厚生委員、政策推進会議役員、議会報告会幹事、タブレット活用検討会会長。会派・友和(森本議員、私)
- 地域医療と市民を結ぶ会事務局長、千鳥が池観察会ゲストティーチャー、卓球協会理事、古賀市第九合唱団実行委員、フレンズ花見会員、花見苑自主防犯パトロール
- 事務所は千鳥(福岡東医療センター前)、自宅は花見東2区

### 今後の市政日程

2026年(令和8年)

- 2月8日 衆院選の投開票
- 3月定例議会 当初予算案審査  
2月26日～3月26日(予定)
- 6月定例議会
- 9月定例会 決算審査
- 市長選挙

11月22日告示、同29日投開票

●12月定例議会  
2027年(令和9年)

- 3月定例会 当初予算案審査
- 市議会議員選挙 4月末



千鳥小児童と取り組んだ千鳥が池観察会(昨年6月)



サンリブに続き設置されたサニー古賀店の廃食油回収BOX(昨年8月)



第九公演会で合唱団員として出演酒井委員長と記念写真(昨年12月)



### 領収証

株式会社ナフコ 様  
ホームプラザナフコ 古賀店  
TEL:092-942-6668  
登録番号:T7290801002705  
本日のお買上げ誠にありが  
とうございます。またのご  
来店をお待ちしております  
2025年08月02日 09:28  
担 [redacted] 002-44528

21 高白色コピー用紙A4 A4	
20012380 単価	468
5点	¥2,340
合計	¥2,340
10%対象お買上額	¥2,340
(10%内消費税額)	¥212
現金	¥2,340
お預り	¥3,040
お釣り	¥700



### お買上げ明細

2025年11月30日(日) 10時10分

会員番号 (3236000054379)

<明細>

1 ●インクカートリッジ キヤノン 4549292131451 BCI-371XL+370XL/5MPV	10%	1点	¥6,840
クーポン値引500円 5%値引対象			
2 使用済みインク値引き -----*			
2098010128256 インク社*10円 5点	10%		¥0
明細小計			¥6,840
B 値引			-50
6点/合計			¥6,790
税率別内訳 / 課税対象額 10%			¥6,790
(内消費税額)			¥617

[0533236-053016391-2310005546177]

### 領収証

2025年11月30日(日) 10時10分

様

金額 ¥6,790

(内消費税等 ¥617)

税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥6,790  
(内消費税額 ¥617)

但し、お品代として  
上記金額正に領収致しました。

<決済内訳>  
クレジット [redacted] ¥6,790  
(内消費税等 ¥617)

登録番号:T3050001005560  
株式会社九州ケーズデンキ

ケーズデンキ古賀店  
電話番号 092-410-3170  
販売担当者 [redacted]

